

Panasonic

DVC PRO

Digital Video Cassette Recorder

AJ-D250

取扱説明書

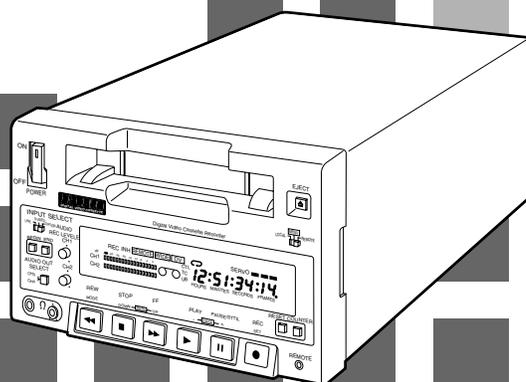
保証書別添付

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。

製造番号は、品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

著作権（録画テープの取り扱い）

あなたがビデオで録画したテープは、個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用はできません。



ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。

上手に使って、上手に節電

ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

目次

安全上のご注意	3	セットアップメニュー	31
概要	8	SYSTEMメニュー	31
特長	8	BASICメニュー	32
各部の名称と機能	9	OPERATIONメニュー	33
フロントパネル	9	INTERFACEメニュー	34
コネクター部	12	TAPE PROTECTメニュー	35
テープについて	14	TIME CODEメニュー	36
操作方法	15	VIDEOメニュー	37
電源投入/カセット挿入	15	AUDIOメニュー	38
STOPモード	16	編集	39
記録	17	音声編集機能	40
一時停止/記録(つなぎ撮り)	18	カット処理	40
再生	18	Vフェード処理	40
早送り再生/巻き戻し再生	18	First Edit 機能	41
静止画再生	18	RS-232C	42
コマ送り	19	1. ハードウェア仕様	42
音声切り替え	19	1) インターフェイス仕様	42
REC CHECK	19	2) 通信条件について	42
リピート再生	20	2. ソフトウェア仕様	43
タイムコード/ユーザービットについて	22	1) 外部インターフェイス仕様	43
タイムコード	22	2) 送信フォーマット (パソコン VTR)	43
ユーザービット	22	3) 受信フォーマット (VTR パソコン)	44
タイムコードの設定	23	4) コマンドリスト	45
ユーザービットの設定	23	5) RS-232C 通信注意事項	77
タイムコード/ユーザービットの再生	24	エラーメッセージ	78
スーパーインポーズ画面	25	EMERGENCY イジェクト	79
セットアップ (初期設定)	27	ビデオヘッドクリーニング	80
オンスクリーンメニューでの設定方法	27	結露	80
工場出荷時の設定値への戻し方	27	お手入れについて	80
ユーザーデフォルトの設定方法	28	アフターサービス	81
ユーザーデフォルトのロード方法	29	定格	82
メニュープロテクトの方法	29		
メニュープロテクトの解除方法	30		
DIAGメニューの表示方法	30		

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

設置について



警告

コンセントや配線機器の定格を越える使い方や、交流100V以外での使用はしない！



禁止

たこ足配線などで定格を越えると、発熱による火災の原因となります。

電源コードに重いものを載せない！



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。
コードが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。

コードに重いものを載せない！



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。
コードが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

設置について

<p>ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない！</p> <p> 感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>不安定な場所に置かない！</p> <p> 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>水場に設置しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>
<p>付属品・オプションは、指定の製品を使用する！</p> <p> 本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。</p>		

使用方法について

<p>本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！</p> <p> 本機内部にはいると、故障や事故を起こすおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>表示された電源電圧以外は、使用しない！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない！</p> <p>傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない！</p> <p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none">●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に、ご相談ください。
<p>機器が濡れたり、水が入らないようにする！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。</p> <p>禁止</p>	<p>機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>本機を改造しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>分解禁止</p>
<p>水場で使用しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>	<p>電源プラグは、根元まで確実に差し込む！</p> <p> 感電の原因になります。</p>	

安全上のご注意

必ずお守りください

使用方法について

警告

本機の裏ぶた・キャビネット・カバーなどを外さない！



感電の原因となります。

分解禁止

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

指定のカバー以外は、外さない！



感電の原因となります。

分解禁止

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

異常時の処理について

警告

本機を落としたり、破損した場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起すおそれがあります。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。

- お買い上げの販売店に、修理をご依頼ください。

本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起すおそれがあります。

本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起すおそれがあります。

電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する！



そのまま使用すると、火災・感電を起すおそれがあります。

- お買い上げの販売店に、ご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お手入れについて



警告

電源プラグのほこりなどは、定期的にとる！



プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

設置について



注意

電源コードを熱器具に近づけない！



禁止

コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。

油煙や湯気が当たる場所に置かない！



禁止

火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない！



禁止

火災・感電の原因となることがあります。

プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！



禁止

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 必ずプラグを持って抜いてください。

本機の通風孔をふさがない！



禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
次のような使い方は、しないでください。

- 本機を風通しの悪い所に押し込む。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。

安全上のご注意

必ずお守りください

使用方法について

⚠ 注意

本機の上に重い物を置かない！



禁止

バランスがくずれて、落下し、けがの原因となります。

本機に乗らない！



禁止

倒れたり、壊れたりし、けがの原因になります。

カセットテープ挿入口に、手をはさまれないように注意する！



指に注意

けがの原因となります。

長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く！



電源プラグを抜く

火災の原因となることがあります。

移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す！



電源プラグを抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れについて

お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源(プラグ)を抜く！



電源プラグを抜く

火災・感電の原因となることがあります。

1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を！



本機の内部にほこりがたまったら、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。

概 要

本機は、1/4 インチ幅のテープを採用したデジタルVTRです。

デジタル圧縮技術を採用しておりますので、従来のアナログ方式と比べて、ダビング時の画質・音質の劣化が大幅に少なくなります。

また、本機は小型・軽量設計になっておりますので持ち運びにも負担が軽く、ラックに設置するときにも楽に行えます。

機器の各設定は、モニターテレビの画面メニューを見ながら対話方式で行います。

AJ-D250 は、RS-232C 端子を標準装備していますので、別売の RS-232C リモートコントローラ (AJ-A250) による編集コントロールや、コンピュータからのリモートコントロールが可能です。

特 長

小型・軽量

本機のサイズは幅 214 mm、高さ 132 mm、奥行 391 mm、重量は 6.5 kg です。

把手を装備しているため、持ち運びに便利です。

アッセンブル編集・インサート編集

別売の RS-232C リモートコントローラ (AJ-A250) を使用し、直接コントローラから再生側と録画用の本機 2 台を制御して、編集することができます。

エンコーダコントロール

ビデオ出力信号の調整を、セットアップメニューで行えます。

2 チャンネルの高音質デジタルオーディオ

RS-232C コントロール

別売の RS-232C リモートコントローラ (AJ-A250) による編集コントロールの他に、RS-232C ケーブルをコンピュータにつなぐことにより、コンピュータからのリモートコントロールが可能です。

最大 184 分記録

使用するカセットテープは、取材用 (最大 66 分) と汎用 (最大 184 分) の 2 種類。

テープ幅は 1/4 インチのコンパクト設計になっています。

民生機器との互換

民生機器のデジタルカメラで撮影した民生用カセットテープは、カセットアダプタ (AJ-CS750P : オプション) を使用すると、本機で再生できます。LP モードには対応いたしません。

タイムコード

本機は TCG (タイムコードジェネレーター) / TCR (タイムコードリーダー) を内蔵しています。

リピート再生

テープ上の任意の範囲で連続リピート再生もしくは、1 回だけのリピート再生ができます。

メニュー方式のセットアップ

機器の各設定は、モニターテレビの画面メニューを見ながら対話方式で行います。

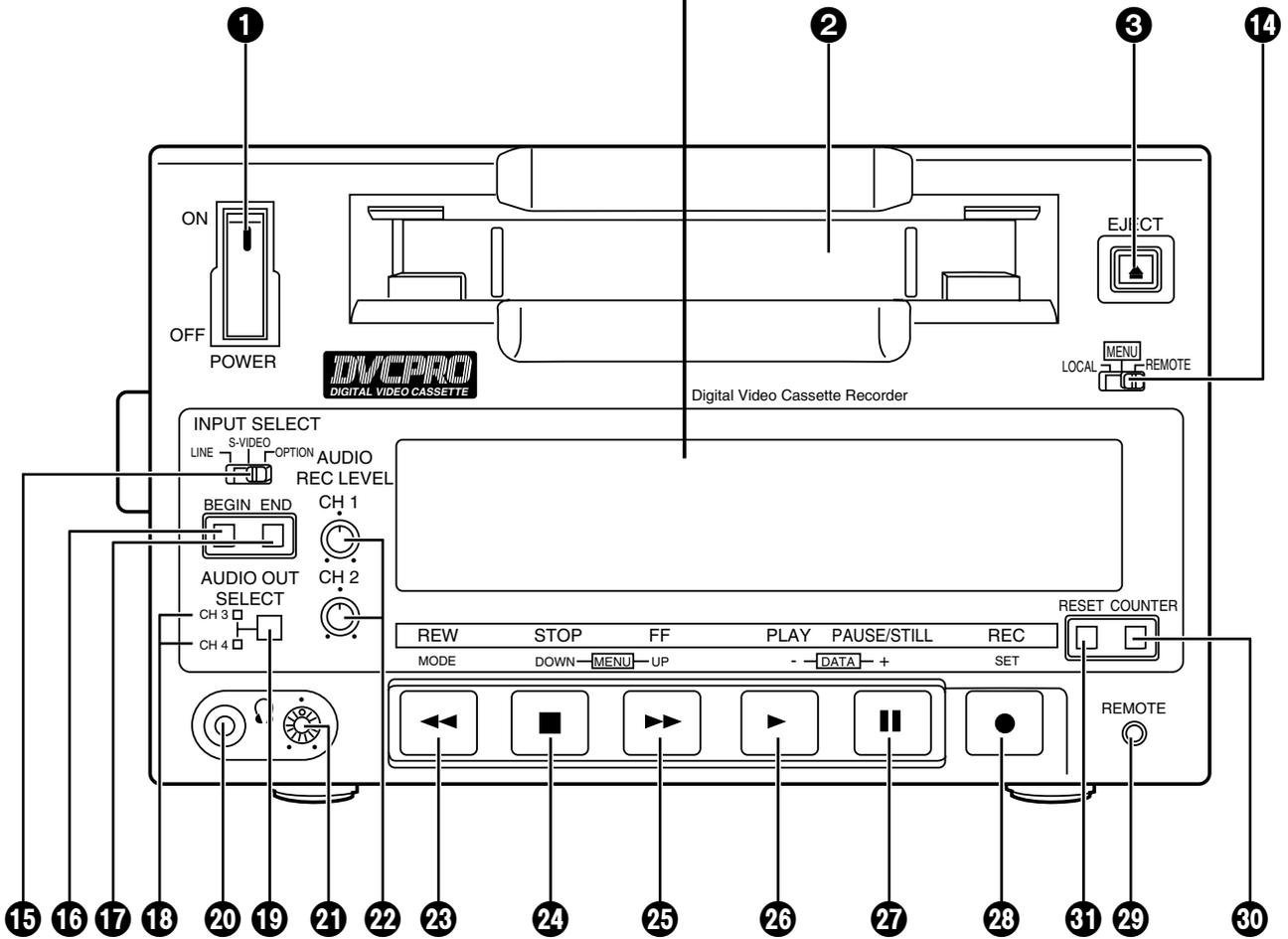
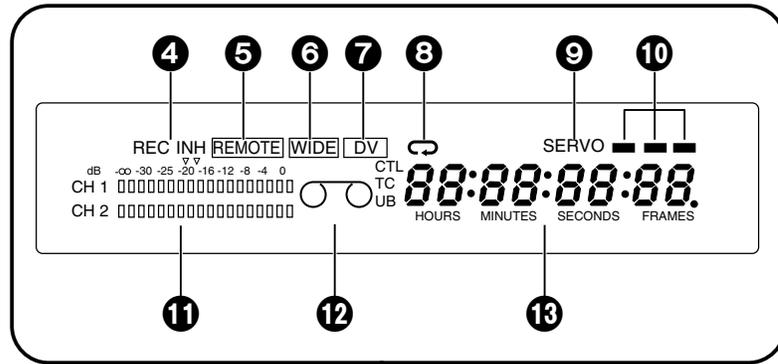
リモートコントロール

リモートコントローラ : AG-A11 (別売品) を接続すると、約 5 m 離れたところから本機を操作することができます。

各部の名称と機能

フロントパネル

カウンターディスプレイ部



各部の名称と機能

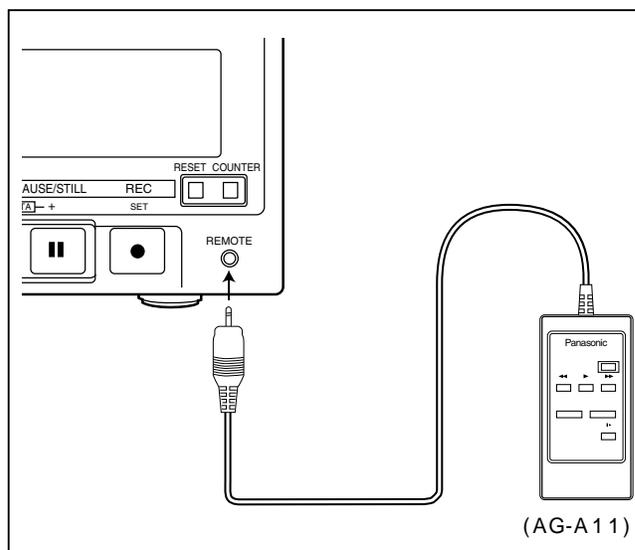
フロントパネル

- ① POWER スイッチ
ON 側を押すと電源が入り、カウンター表示部が点灯します。
- ② カセット挿入口
取材カセット、汎用カセット、およびアダプター付きの民生用カセットの挿入口です。民生用カセットは、再生のみが可能です。
- ③ EJECT ボタン
押すとテープがアンロードし、数秒後自動的にカセットを排出します。
カウンター表示部が CTL 表示のときは、表示がリセットされます。
- ④ REC/REC INH ランプ
REC : 録画中に点灯します。
REC INH : カセット誤消去防止状態になっているときに点灯します。
またセットアップメニューで REC INHIBIT を ON に設定したときに点灯します。
このとき、記録はできません。
- ⑤ REMOTE ランプ
LOCAL/MENU/REMOTE スイッチで、REMOTE 側を選択したときに点灯します。
- ⑥ WIDE ランプ
16 : 9 のワイド画面モードのときに点灯します。
- ⑦ 民生用カセット挿入表示ランプ
民生用 DV の機器で記録されたカセットが挿入されているときに点灯します。
- ⑧ REPEAT ランプ
リピート再生時に点灯します。
- ⑨ SERVO ランプ
ドラムサーボおよびキャプスタンサーボがロックすると、点灯します。
- ⑩ チャンネルコンディション・ランプ
エラーレートの状態に応じて、点灯します。
(緑 青 赤)
緑 : ビデオ/オーディオの再生信号のエラーレートが、共に良好なときに点灯します。
青 : ビデオ/オーディオの再生信号のいずれかのエラーレートが悪化したときに点灯します。このランプが点灯しても、再生画は正常です。
赤 : ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に、修正/補間がかかったときに点灯します。
- ⑪ レベルメーター
オーディオ信号の各レベルを表示します。
オーディオ信号は、記録時および E-E 選択時には入力信号のレベルを、再生時には出力信号の各レベルを表示します。
- ⑫ カセット挿入表示ランプ
本機にカセットが挿入されているときに、このランプが点灯します。
- ⑬ カウンター表示部
TC、CTL のカウント値や、オンスクリーン情報等の各種メッセージを表示します。
- ⑭ LOCAL/MENU/REMOTE スイッチ
メニュー設定もしくは、外部から本機をコントロールするときに切り替えます。
LOCAL : 本機の操作パネルで本機をコントロールするとき。
MENU : オンスクリーンメニューを設定するとき。
REMOTE : RS-232C など、外部コントロール機器で本機をコントロールするとき。
- ⑮ INPUT SELECT スイッチ
入力信号の切り替えを行います。
LINE : ビデオ信号入力端子に入力されている信号を記録するとき。
S-VIDEO : S-VIDEO 入力端子に入力されている信号を記録するとき。
OPTION : オプションボードより、ビデオおよびオーディオ信号を入力して記録するとき。
- ⑯ BEGIN ボタン
リピート再生の開始点の設定および、現在登録されている開始点の表示を行います。
- ⑰ END ボタン
リピート再生の終了点の設定および、現在登録されている終了点の表示を行います。
- ⑱ CH3/CH4 ランプ
DV フォーマット再生時、音声信号が CH3、CH4 に設定されているときに点灯します。
- ⑲ AUDIO OUT SELECT ボタン
出力する音声信号の切り替えを行います。

各部の名称と機能

- ⑳ ヘッドホンジャック
ステレオヘッドホンを接続すると、記録/再生の音声を、ヘッドホンでモニターできます。
- ㉑ 音量調整ボリューム
ヘッドホンの音量を調整するボリュームです。
- ㉒ 音量記録レベル調整ボリューム
PCM オーディオ信号 CH1/CH2 の記録レベルを調整するボリュームです。
- ㉓ REW ボタン
押すと、テープを巻き戻し、セットアップメニュー項目「S/F/R EE SEL」が「TAPE」のときは、再生画をモニターすることができます。
- ㉔ STOP ボタン
押すと、テープ走行が停止し、セットアップメニュー項目「S/F/R EE SEL」が「TAPE」のときには、静止画をモニターすることができます。ストップモード中でもドラムは回転し、テープはドラムに密着しています。ストップモードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイ OFF モードになります。
- ㉕ FF ボタン
押すと、テープを早送りし、セットアップメニュー項目「S/F/R EE SEL」が「TAPE」のときは、再生画をモニターすることができます。
- ㉖ PLAY ボタン
押すと、再生が始まります。
REC ボタンと同時に押すと、記録が始まります。
- ㉗ PAUSE/STILL ボタン
記録中に押すと、一時停止します。再度押すと、記録を再開します。
再生中に押すと、静止画になります。再度押すと、再生を再開します。
- ㉘ REC ボタン
PLAY ボタンと同時に押すと、記録が始まります。再生時や STOP モード、スタンバイ OFF モードのときに押すと、REC CHECK モードになります。
(19 ページ参照)

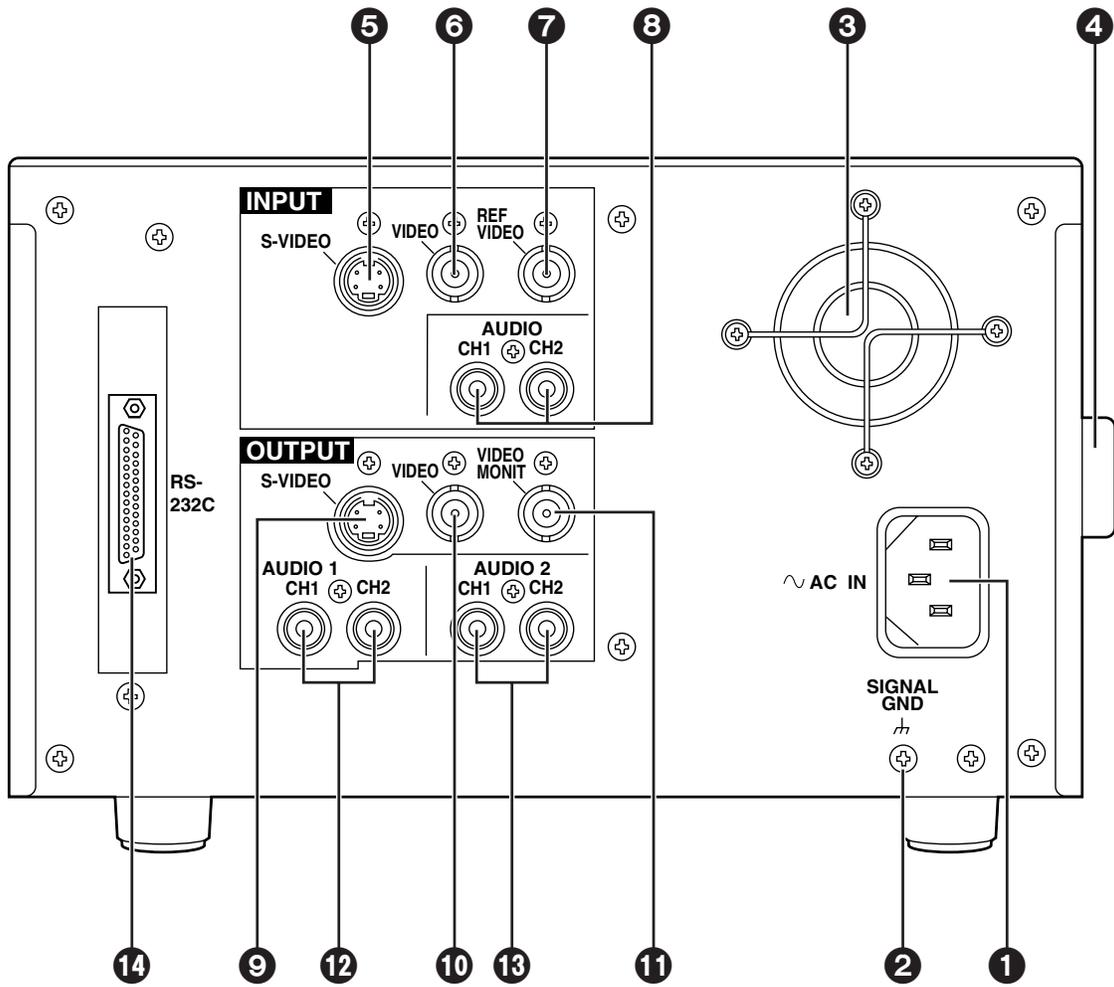
- ㉙ リモコン端子
リモートコントローラー (AG-A11) を接続すると、本機の操作ボタンに代わって離れたところから動作させることができます。
但し、LOCAL/MENU/REMOTE スイッチは、REMOTE の位置にしておいてください。



- ㉚ COUNTER ボタン
カウンター表示部の切り替えを行います。
CTL : テープタイマー (コントロール信号) を表示します。
TC : タイムコードを表示します。
UB : ユーザービットを表示します。
残量 : テープ残量を表示します。
- ㉛ RESET ボタン
CTL モード時に押すと、カウンターの表示が 00:00:00:00 になります。

各部の名称と機能

コネクター部

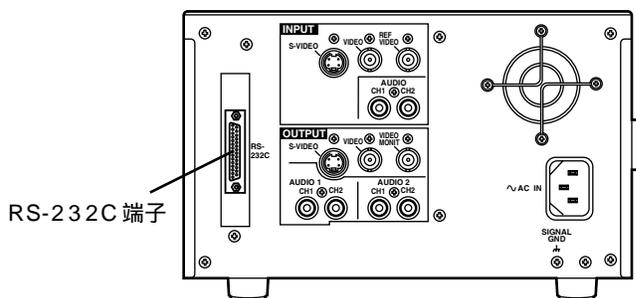


各部の名称と機能

コネクター部

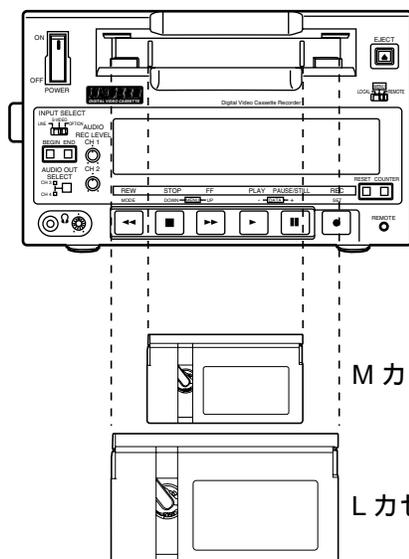
- ❶ AC IN コネクター
付属の電源コードを使って、電源コードに接続します。
- ❷ SIGNAL GND 端子
ノイズ軽減のため、接続機器の信号アース端子と接続します。安全アースではありません。
- ❸ ファンモーター
本機の冷却用のファンモーターです。
- ❹ 把手
把手は側面に付いていますが、本機を動作させるときは、本機を水平に設置してください。
- ❺ S-VIDEO IN 端子
S-VIDEO 映像信号の入力端子です。
- ❻ VIDEO IN 端子
アナログ・ビデオ信号の入力端子です。
- ❼ REF VIDEO IN 端子
再生時に外部の基準同期信号に同期させる為の、リファレンス・ビデオ信号の入力端子です。
- ❽ AUDIO IN 端子
アナログオーディオ信号の入力端子です。
- ❾ S-VIDEO OUT 端子
S-VIDEO 映像信号の出力端子です。
- ❿ VIDEO OUT 端子
アナログ・ビデオ信号の出力端子です。
- ⓫ MONITOR OUT 端子
映像モニター信号の出力端子です。
スーパーインポーズしたビデオ信号の出力ができます。
- ⓬ AUDIO 1 OUT 端子
アナログオーディオ信号の出力端子です。
- ⓭ AUDIO 2 OUT 端子
アナログオーディオ信号の出力端子です。

- ⓮ RS-232C 端子
別売の RS-232C リモートコントローラ (AJ-A250) を接続することにより、編集作業を素早く効率的に行うことができます。また、別売の RS-232C ケーブルを使用すると、コンピュータによる種々の操作が可能になります。



テープについて

タイプ	内 容
民生用カセット (S カセット)	民生用カメラレコーダー専用テープです。 カセットアダプター(別売品)を使用すれば、再生のみできます。 ただし、長時間用テープ (標準モード 80 分/LP モード 120 分) は、使用できませんのでご注意ください。 なお、テープはパナソニックの民生用 DV テープのご使用をお勧めいたします。 「カセットアダプターを使用せずにカセットテープを挿入しますと、故障の原因となりますのでご注意ください。」
M カセット	最大 66 分の記録・再生テープ (AJ-P12MP、AJ-P24MP、AJ-P33MP、AJ-P46MP、AJ-P66MP)
L カセット	最大 184 分の記録・再生テープ (AJ-P34LP、AJ-P66LP、AJ-P94LP、AJ-P126LP、AJ-P184LP *) * AJ-P184LP カセットテープは、DVCPRO (25M) 184 分対応 VTR にてご使用ください。



挿入口のセンターにカセットをあわせ、軽く押ししてください。
カセットテープは、自動的にローディングされます。

民生用 DV テープおよび DVCAM テープを本機で再生する場合、高湿度環境下 (湿度 70 % 以上) でのご使用は、できるだけ避けてください。

< 民生用 DV テープ再生時のご注意 >

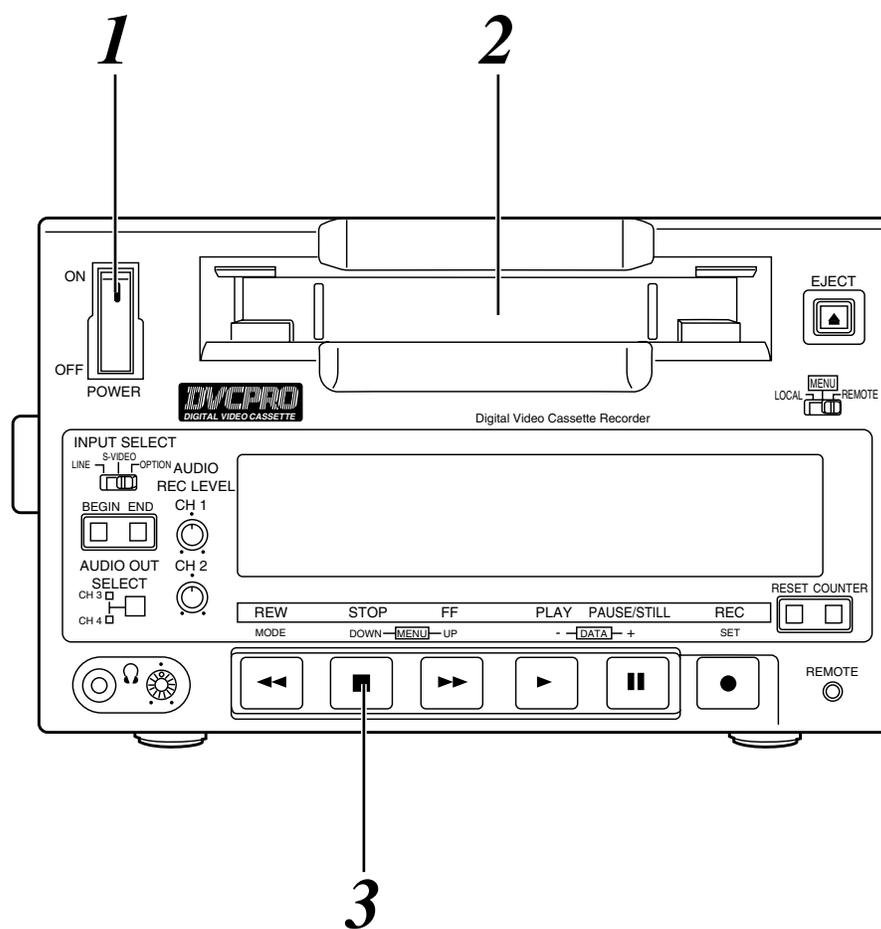
- 民生用テープは、再生のみご使用できます。
- LP モードで記録された民生用テープの再生はできません。
- 民生用テープへの記録はできませんので、記録に関する機能は、禁止しています。
- 民生用テープの最大送り速度は 32 倍速です。
- 民生用テープの静止画像は乱れることがあります。
- テープ保護の観点から、民生用テープでのキューアップは、できるだけ控えていただきますようお願いいたします。
- 民生用テープご使用時の STILL TIMER の最大時間は 10 秒に設定されています。
また STILL 状態で放置された場合、1 分後にスタンバイ OFF (ハーフローディング) モードになります。
- 民生用テープのサーチ、静止画像時は、タイムコードの読み取り不可の表示が出る場合があります。

操作方法

電源投入/カセット挿入

操作を始める前に、機器の接続が正しいかを確認してください。

- 1** 電源を入れます。
- 2** カセットテープを挿入します。
カセットテープは、無理なく正規の位置に挿入してください。
- 3** STOPランプが点灯していることを確認します。
テープを挿入すると、自動的にシリンダーが回転し、テープがローディングされ、STOPモードになります。
<ノート>
テープ挿入時のモードは、セットアップメニュー項目NO. 104「TAPE IN MOD」の設定により変更可能です。(33ページ参照)



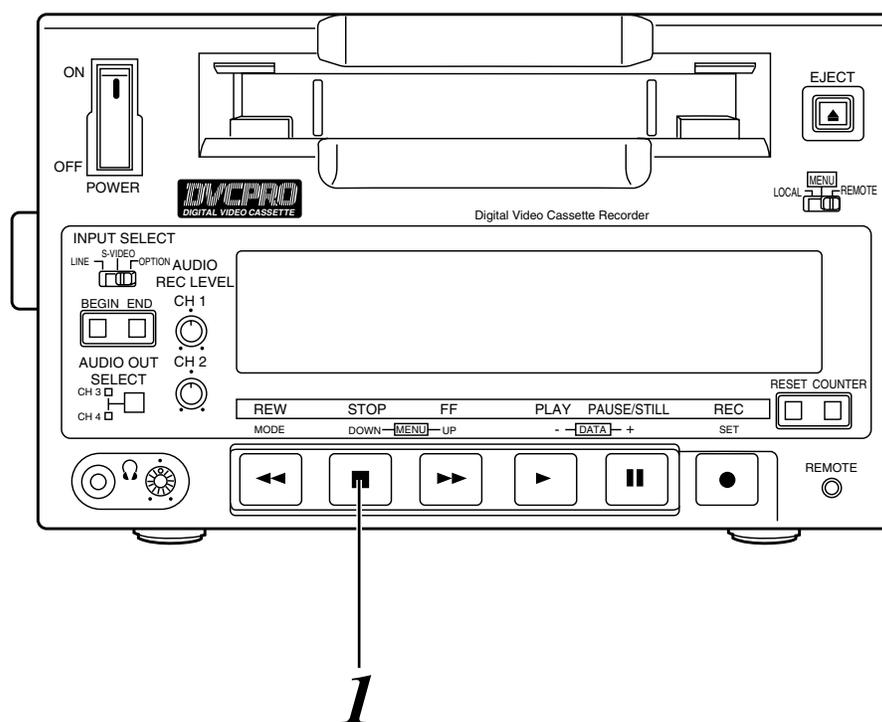
操作方法

STOP モード

- 1** STOP ボタンを押すと、STOP モードになります
STOP ランプが点灯し、テープ走行が停止します。
- テープ保護のため、セットアップメニュー項目「STILL TIMER」で設定した時間が経過すると、テープ保護モードになります。(35 ページ参照)
STOP、REW、FF、PLAY の各ボタンを押すと、それぞれのモードになります。

<STILL TIMER 設定のご注意>

- 繰り返し、同じテープの同じ箇所を使用するときなどには、同一箇所での累計待機時間が長くなります。テープ保護のため、同一箇所での待機時間は、できる限り短くご使用ください。



記 録

1 カセットテープの誤消去防止用ツメを「記録」側にし、テープを挿入します。

2 STOP ボタンを押して、本機を停止モードにします。

3 REC INH ランプが消えていることを確認します。

4 ビデオ/オーディオ入力信号の選択とレベルの調整

4-1 入力ビデオ/オーディオ信号の選択

1 記録する信号を接続します。

2 フロントパネルの INPUT SELECT スイッチで入力信号を選択します。

4-2 オーディオレベル調整

1 オーディオ入力信号レベルを調整します。

オーディオ信号は、センタークリック位置で適正なレベルで記録されます。

5 REC ボタンを押しながら、PLAY ボタンを押します。
REC と PLAY ランプが点灯し、記録が始まります。

6 記録を終了するときは、STOP ボタンを押します。
記録が終了し、停止モードになります。

< ノート >

- 入力信号に記録防止信号が記録されているものは、正しく記録できません。
- 記録中は、SERVO ランプが点灯していることを確認します。ランプが点滅または消えているときは、再生した画像は乱れます。

操作方法

一時停止/記録(つなぎ撮り)

- 1** カセットテープを再生中に、PAUSE/STILL ボタンを押します。
セットアップメニュー項目「AUTO BACK」が「ON」のとき、PAUSE/STILL ボタンを押した位置より、約 2 秒間テープが巻き戻されます。(33 ページ参照)
- 2** REC ボタンを押し、REC PAUSE モードにします。
このとき、E-E 画面にモニター表示が切り替わります。
- 3** PAUSE/STILL ボタンを押し、記録を始めます。
1 で PAUSE/STILL ボタンを押した位置までテープが走行し、記録を開始します。
<ノート>
このとき、E-E 画面が表示されます。

再生

- 1** カセットテープを挿入します。
 - 2** PLAY ボタンを押します。
通常の再生が開始されます。
 - 3** 再生を終了するときは、STOP ボタンを押します。
VTR は、STOP モードになります。
- <ノート>
- 再生中は、SERVO ランプが点灯していることを確認してください。消灯もしくは点滅していると、再生画像が乱れます。

早送り再生/巻き戻し再生

再生中に FF ボタンまたは、REW ボタンを押し続けます。
押している間、約 10 倍の速度で早送り再生または、巻き戻し再生されます。

ボタンを離すと、通常の再生に戻ります。

- 早送り再生、巻き戻し再生中、セットアップメニュー項目「SEARCH CUE」が「ON」のとき、CUEトラックの音声が出力されます。(38 ページ参照)

静止画再生

再生中に PAUSE/STILL ボタンを押します。
もう一度 PAUSE/STILL ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

- 静止画再生中には、音声は聞こえません。

操作方法

コマ送り

静止画再生中に FF ボタンまたは、REW ボタンを押すとコマ送りをします。

- コマ送り時、音声は聞こえません。

音声切り替え

AUDIO OUT SELECT ボタンで希望する音声に切り替えます。

AUDIO OUT SELECT ボタンを押すことにより、音声出力が下記の順にモードが切り替わります。

モード	AUDIO OUT 端子		表示管	LED
	CH1 出力	CH2 出力		
A	CH1	CH2	CH1 CH2	CH3 CH4
B	CH1		CH1	CH3 CH4
C	CH2		CH2	CH3 CH4
D	CH3	CH4	表示なし	CH3 CH4
E	CH3		表示なし	CH3 CH4
F	CH4		表示なし	CH3 CH4
G	CH1+CH3	CH2+CH4	CH1 CH2	CH3 CH4

 は、DV フォーマット 4ch モード再生時のみ有効

..... 消灯

..... 点灯

モードの切り替わり順序



REC CHECK

再生時や STOP モード、スタンバイ OFF モードのときに REC ボタンを押すと、オーディオ入力信号やタイムコードジェネレータ値、INPUT SELECT スイッチにより選択されているビデオ入力信号が確認できます。

- 再生中の REC CHECK
REC ボタンを押している間、REC CHECK モードになります。
REC ボタンを離すと、再生モードに戻ります。
- STOP モード時やスタンバイ OFF モード時の REC CHECK
REC ボタンを押すと、REC CHECK モードになります。
解除するときは、STOP ボタンを押します。

操作方法

リピート再生

BEGIN、END 点の設定 【メニューモード】

- 1** VTR をメニューモードにします。
(LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。)
- 2** セットアップメニュー項目「BGN PRESET」または「END PRESET」を選択し、DATA + ボタン (PAUSE/STILL ボタン) または DATA - ボタン (PLAY ボタン) を押します。(33 ページ参照)
< ノート >
DATA + ボタン、DATA - ボタンを操作すると、設定 / 未設定の選択ができます。
- 3** COUNTER ボタンで、TC、CTL のいずれかを選択します。
< ノート >
CTL モードのときに RESET ボタンを押すと、00 : 00 : 00 : 00 にリセットされます。
- 4** UP ボタン (FF ボタン)、DOWN ボタン (STOP ボタン) で、変更桁 (点滅表示) を選択します。
但し、フレームの桁は選択できません。常時、「00」が表示されます。
- 5** DATA + ボタン (PAUSE/STILL ボタン)、DATA - ボタン (PLAY ボタン) で値が変わります。
- 6** 設定終了後は、SET ボタン (REC ボタン) を押します。
設定値が記憶されます。
- 7** LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを、LOCAL もしくは REMOTE の位置にします。

< ノート >

- 未設定時の表示は、-- : -- : -- : -- となります。
この状態でリピート再生を行うと、BEGIN 点がテープ始端に、END 点がテープ終端になります。
- 設定終了後 SET ボタンを押さずに MODE ボタン (REW ボタン) を押すと、タイムコードの設定値はキャンセルされます。

操作方法

BEGIN、END 点の設定 【フロントパネル】

- 1** VTR をローカルモードにします。
(LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL の位置にします。)
- 2** フロントパネルの BEGIN ボタン、END ボタンを押すと、現在位置が BEGIN 点、END 点として設定されます。

BEGIN、END 点の表示

- 1** VTR をリモートモードにします。
(LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを REMOTE の位置にします。)
- 2** フロントパネルの BEGIN ボタン、END ボタンを押すと、ボタンを押している間 BEGIN 点、END 点が表示されます。
設定値は、変更されません。

リピート再生モードの設定

- 1** VTR をメニューモードにします。
(LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。)
- 2** セットアップメニュー項目「MEMORY MODE」を選択し、リピート再生モードを選択します。(33 ページ参照)

設定内容	動作
OFF	通常動作
M-STOP	早送り、巻戻しを行うと BEGIN 点付近で停止します。
REPT1	END 点まで再生すると、BEGIN 点までテープを巻戻して停止します。
CONT	END 点まで再生すると、BEGIN 点までテープを巻戻して再生することを繰り返します。

- 3** LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを、LOCAL もしくは REMOTE の位置にします。

< ノート >

- 同じテープで何回もリピート再生を行いますと画像が悪くなりますので、約 100 回を目安に新しいテープと交換してください。
- 民生用テープを使用してリピート再生を行う場合は、セットアップメニュー項目 N0. 111 「MEMORY MODE」の「CONT」を選択しても動作しませんのでご注意ください。
(33 ページ参照)

タイムコード/ユーザービットについて

タイムコード

タイムコードは、タイムコードジェネレーター (タイムコード信号発生器) によって発生されるタイムコード信号をテープ上に記録し、タイムコードリーダー (タイムコード信号読取器) でその値を読み取り、テープの絶対位置を時：分：秒：フレームの単位で表示するときに使用します。

タイムコードは、ヘリカルトラックのサブコード領域 (データ領域) へ書き込まれます。このために VTR の再生速度が、停止モード スロー再生 高速再生まで読み取ることができます。タイムコード値は、ディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

TCR 00 : 07 : 04 : 24

時 分 秒 フレーム

ユーザービット

ユーザービットは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された 32 ビット (8 桁) の情報枠のことです。オペレーターナンバーなどを記録することができます。

ユーザービットに使用できる数字 (文字) は、0 ~ 9 と A B C D E F です。

タイムコード/ユーザービットについて

タイムコードの設定

- 1** VTRをメニューモードにします。
(LOCAL/MENU/REMOTEスイッチをMENUの位置にします。)
- 2** セットアップメニュー項目「TC PRESET」を選択し、DATA + ボタン (PAUSE/STILLボタン) または DATA - ボタン (PLAYボタン) を押します。
(36ページ参照)
- 3** UPボタン (FFボタン)、DOWNボタン (STOPボタン) にて、変更桁 (点滅表示) を選択します。
- 4** DATA + ボタン (PAUSE/STILLボタン)、DATA - ボタン (PLAYボタン) で値が変わります。
- 5** 設定終了後は、SETボタン (RECボタン) を押します。
- 6** LOCAL/MENU/REMOTEスイッチを、LOCALもしくはREMOTEの位置にします。

< ノート >

- 初期値は、現在のタイムコード値が表示されます。
- 変更桁が点滅表示しているときに、RESETボタンを押すと、00:00:00:00 にリセットされます。
- セットアップメニュー項目「TC MODE」を「P-REC」または、「P-FREE」に設定していないと設定ができません。(36ページ参照)
- 変更桁が点滅表示しているときに、SETボタンを押さずにMODEボタン (REWボタン) を押すと、タイムコードの設定値はキャンセルされます。

ユーザービットの設定

- 1** VTRをメニューモードにします。
(LOCAL/MENU/REMOTEスイッチをMENUの位置にします。)
- 2** セットアップメニュー項目「UB PRESET」を選択し、DATA + ボタン (PAUSE/STILLボタン) または DATA - ボタン (PLAYボタン) を押します。
(36ページ参照)

以下、タイムコードの設定方法と同じです。

スーパーインポーズ画面

モニターテレビと MONITOR OUT 端子を接続している場合は、モニターテレビにコントロール信号やタイムコードなどが略称文字で表示されます。

また、セットアップメニュー No. 000 の設定で、表示を ON/OFF する切り替えができます。

(32 ページ参照)

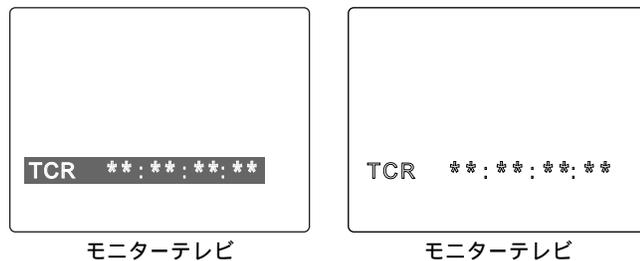


省略文字

CTL	(コントロール信号)
TCR	(タイムコードの再生値)
UBR	(ユーザービットの再生値)
REM	(テープ残量)

表示文字

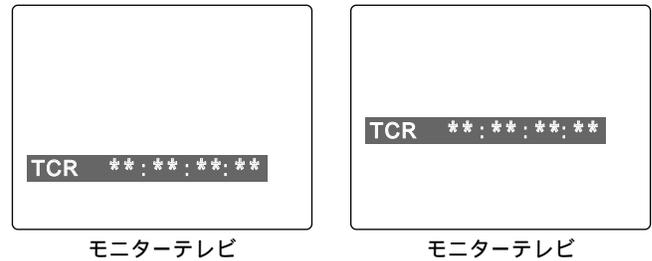
スーパーインポーズの表示文字は、セットアップメニュー No. 004 「CHARA TYPE」の設定で、文字の背景を変えることができます。(32 ページ参照)



表示位置

スーパーインポーズの表示位置は、セットアップメニュー No. 002 「CHARA H-POS」と No. 003 「CHARA V-POS」で変更することができます。

(32 ページ参照)



< ノート >

MODE ボタンと DATA + ボタンまたは、DATA - ボタンを押すと、押している間一時的にカウンター表示となり、設定を確認することができます。

MODE ボタンを押している間も、DATA + ボタン、DATA - ボタンにより、実際の状態を確認しながら設定することもできます。

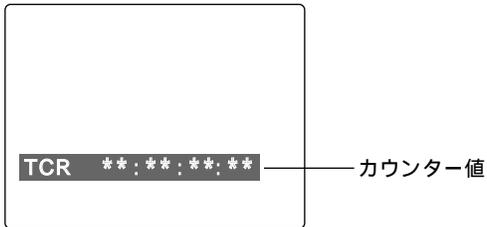
スーパーインポーズ画面

動作モード

セットアップメニュー No. 001「DISPLAY SEL」で表示する内容を選択できます。(32 ページ参照)

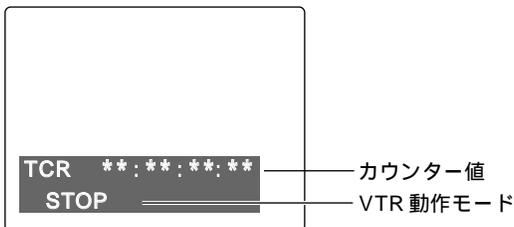
- 「TIME」 : カウンター値
- 「T&STA」 : カウンター値、VTR 動作モード
- 「T&R」 : カウンター値、テープ残量
- 「T&S&R」 : カウンター値、VTR 動作モード、テープ残量

TIME モード



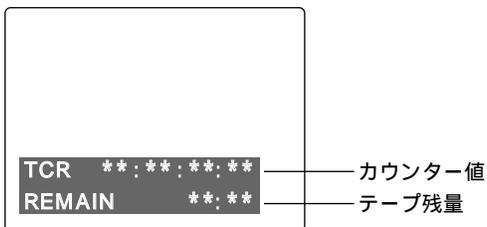
モニターテレビ

T&STA モード



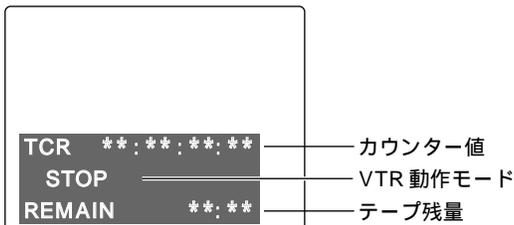
モニターテレビ

T&R モード



モニターテレビ

T&S&R モード



モニターテレビ

< ノート >

- T&S&R モードのとき、3 行目 (テープ残量の行) に、下記のエラー表示を行います。(78 ページ参照)

[NO RF]

: テープのブランク部分を検出したとき。
このとき、フロントパネルのカウンター表示部には、「E-09」が表示されます。

[LOW RF]

: ヘッド出力がないとき。
このとき、フロントパネルのカウンター表示部には、「E-01」が表示されます。

[FAN STOP]

: 冷却ファンが停止したとき。
このとき、フロントパネルのカウンター表示部には、「E-70」とカウンター値が交互に表示されます。

[SERVO NOT LOCKED]

: サーボロックしていないとき。
このとき、フロントパネルのカウンター表示部には、「E-00」が表示されます。

セットアップ (初期設定)

本機的主要な設定は、本機に接続されたビデオモニターに表示される、オンスクリーンメニューで設定・確認することができます。

また、フロントパネルのディスプレイ部に表示される、項目番号と設定番号で設定・確認することもできます。

さらに、ユーザー設定メモリーを1セット用意していますので、あらかじめ好みの設定をメモリーして使用することが可能です。

オンスクリーンメニューでの設定方法

- 1 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。
本機はメニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

SET-UP MENU	MAIN
	NO.00
* 00 SYSTEM	
000 BASIC	
100 OPERATION	
200 INTERFACE	
400 TAPE PROTECT	
500 TIME CODE	
600 VIDEO	
700 AUDIO	
END	

メニュー設定モード時は、操作ボタンの“REW, STOP, FF, PLAY, PAUSE/STILL, REC”は、それぞれ“MODE, MENU-DOWN, MENU-UP, DATA -, DATA +, SET”として動作します。

- 2 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソル (*) を変更したいメニューに移動します。
- 3 SET ボタンを押し、各項目の設定を行います。
メニュー画面に戻るときは、MODE ボタンを押しながら SET ボタンを押しします。

- 4 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソル (*) を変更したい項目に移動します。

また、MODE ボタンを押しながら MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押すと、ページを UP/DOWN することができます。

- 5 DATA + ボタンまたは、DATA - ボタンを押し、設定値を変更します。
設定値の変更中は、設定値が点滅します。

- 6 SET ボタンを押し、設定値を確定します。
複数の項目を変更する場合は、4・5・6 の操作を繰り返し行います。
<ノート>
MODE ボタンを押しることにより、設定値をキャンセルすることができます。
設定値を確定せずに他の項目を変更する場合は、MODE ボタンを押し、その後 4・5・6 の操作を行ってください。

- 7 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。
メニュー設定が終了します。

工場出荷時の設定値への戻し方

- 1 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。
本機はメニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。
- 2 RESET ボタンを押しします。
本機はデフォルト設定モードになり、デフォルト設定画面がビデオモニターに表示されます。

SELECT	MODE
	* ESCAPE
	LOAD
	SAVE
	PROTECT

セットアップ (初期設定)

- 3** MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを LOAD の位置して、SET ボタンを押しします。
本機は LOAD モードになり、LOAD 画面がビデオモニターに表示されます。

```
SET-UP MENU    <LOAD>
                * NO
                FACTORY (ALL)
                FACTORY (NOT SYSTEM)
                USER (ALL)
                USER (NOT SYSTEM)
```

- 4** MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを FACTORY (ALL) に移動して、SET ボタンを押しします。
- カーソルを FACTORY (NOT SYSTEM) に移動してこの操作を行った場合は、SYSTEM メニュー以外が工場出荷時の設定値に戻ります。
 - カーソルを NO に移動してこの操作を行った場合は、工場出荷時の設定値に戻らずにメニュー画面に戻ります。

- 5** LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。
メニュー設定が終了します。

ユーザーデフォルトの設定方法

- 1** LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。
本機はメニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

- 2** 「オンスクリーンメニューでの設定方法」2 ~ 6 の操作を行い希望の設定値に変更します。
(27 ページ参照)

- 3** RESET ボタンを押しします。
本機はデフォルト設定モードになり、デフォルト設定画面がビデオモニターに表示されます。

```
SELECT        MODE
                * ESCAPE
                LOAD
                SAVE
                PROTECT
```

- 4** MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを SAVE の位置して、SET ボタンを押しします。
本機は SAVE モードになり、SAVE 画面がビデオモニターに表示されます。

```
SET-UP MENU    <SAVE>
                * NO
                USER (ALL)
                USER (NOT SYSTEM)
```

- 5** MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを USER (ALL) に移動して、SET ボタンを押しします。
- カーソルを USER (NOT SYSTEM) に移動してこの操作を行った場合は、SYSTEM メニュー以外の設定値が更新されます。
 - カーソルを NO に移動してこの操作を行った場合は、更新されないままメニュー画面に戻ります。

- 6** SAVE を確認する画面が表示されるので、MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを YES の位置して、SET ボタンを押しします。
設定値がメモリーされます。

```
SAVE OK?
                * NO
                YES
```

- 7** LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。
メニュー設定が終了します。

セットアップ (初期設定)

ユーザーデフォルトのロード方法

1 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。
本機はメニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

2 RESET ボタンを押します。
本機はデフォルト設定モードになり、デフォルト設定画面がビデオモニターに表示されます。

SELECT	MODE
	* ESCAPE
	LOAD
	SAVE
	PROTECT

3 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを LOAD の位置して、SET ボタンを押します。
本機は LOAD モードになり、LOAD 画面がビデオモニターに表示されます。

SET-UP MENU	<LOAD>
	* NO
	FACTORY (ALL)
	FACTORY (NOT SYSTEM)
	USER (ALL)
	USER (NOT SYSTEM)

4 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを USER (ALL) に移動して、SET ボタンを押します。

- カーソルを USER (NOT SYSTEM) に移動してこの操作を行った場合は、SYSTEM メニュー以外がメモリーされているユーザー設定値で動作します。
- カーソルを NO に移動してこの操作を行った場合は、メモリーされているユーザー設定値に変更されないままメニュー画面に戻ります。

5 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。
メニュー設定が終了します。

メニュープロテクトの方法

本機をメニュープロテクトモードにすることにより、フロントパネルの LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にしても、セットアップメニューを開かなくすることができます。

1 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。
本機はメニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

2 RESET ボタンを押します。
本機はデフォルト設定モードになり、デフォルト設定画面がビデオモニターに表示されます。

SELECT	MODE
	* ESCAPE
	LOAD
	SAVE
	PROTECT

3 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを PROTECT の位置して、SET ボタンを押します。
本機はメニュープロテクト設定モードになり、メニュープロテクトを確認する画面がビデオモニターに表示されます。

MENU PROTECT OK?
* NO
YES

4 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを YES の位置に移動して、SET ボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。

セットアップ (初期設定)

5 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。
本機がメニュープロテクトモードに設定されます。
LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にすると、メニュー設定モードにならず、ビデオモニターの画面に「MENU PROTECTED」と表示されます。

<ノート>

メニュープロテクトモード設定中に、フロントパネルの COUNTER ボタンを押しながら、LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にすると、メニュー設定モードになり、通常のメニュー設定ができます。
「オンスクリーンメニューでの設定方法」の 2 ~ 7 を実施してください。(27 ページ参照)

メニュープロテクトの解除方法

1 フロントパネルの COUNTER ボタンを押しながら、LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。
メニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

2 前記「メニュープロテクトの方法」の 2・3 を実施します。
メニュープロテクトを確認する画面がビデオモニターに表示されます。

MENU PROTECT OK? * NO YES

3 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを NO の位置に移動して、SET ボタンを押しします。
メニュープロテクトが解除されます。

DIAG メニューの表示方法

本機には、「HOUR メーター」と「ソフトウェアのバージョン」をビデオモニターに表示させる機能があります。

1 EJECT ボタンを押しながら、LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。
本機は DIAG 表示モードになり、ビデオモニターに HOUR メーターが表示されます。

DIAG-MENU	HOURS METER
H0	OPERATION 00000H
H1	DRUM RUN 00000H
H2	TAPE RUN 00000H
H3	THREADING 00000T

2 HOUR メーターが表示されている状態で、MODE ボタンを押しながら MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押しします。
ソフトウェアのバージョンが、ビデオモニターに表示されます。
フロントパネルのカウンター表示部には、フロントマイコンのバージョンが表示されます。

DIAG-MENU	VERSION
<NTSC>	
IF	1.**-**-*.**
AV-SYSCON	1.**-**-*.**
SBC	1.**-**-*.**
CYLINDER	1.**-**-*.**
REEL	1.**-**-*.**
END	

再度 MODE ボタンを押しながら MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンをすと HOUR メーター表示に戻ります。

3 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。
通常のモードに戻ります。

セットアップメニュー

SYSTEM メニュー

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
00	SYSTEM H	0000 : 0255	- 128 : 127	水平位相を調整します。 : 最大可変量は、 $\pm 1.5 \mu \text{ sec}$ です。
01	SC COARSE	0000 0001 0002 0003	0 90 180 270	サブキャリア位相の粗調整をします。 可変量は、 90° 毎の 4 ポジションです。
02	SC FINE	0000 : 0255	- 128 : 127	サブキャリア位相の微調整をします。 : 最大可変量は、 90° です。 SC COARSE 調整と合わせ、 360° をカバーします。
03	SCH COARSE	0000 0001 0002 0003	0 90 180 270	SCH (Sub Carrier to Horizontal) 位相の粗調整をします。 可変量は、 90° 毎の 4 ポジションです。
04	SCH FINE	0000 : 0255	- 128 : 127	SCH (Sub Carrier to Horizontal) 位相の微調整をします。 : 最大可変量は、 90° です。 SCH COARSE 調整と合わせ、 360° をカバーします。
05	VIDEO LEVEL	0000 : <u>0128</u> : 0255	- 128 : 0 : 127	ビデオレベルを設定します。 : 最大可変量は、 $\pm 3 \text{ dB}$ です。
06	SET UP LEVEL	0000 : <u>0128</u> : 0255	- 128 : 0 : 127	セットアップ量を設定します。 : 最大可変量は、10 IRE です。
07	HUE	0000 : <u>0128</u> : 0255	- 128 : 0 : 127	HUE を設定します。 : 最大可変量は、 $\pm 25^\circ$ です。
08	CHROMA LEVEL	0000 : <u>0128</u> : 0255	- 128 : 0 : 127	クロマレベルを設定します。 : 最大可変量は、 $\pm 3 \text{ dB}$ です。

_____ は、工場出荷モードです。

< ノート >

- 項目 No. 05, 06, 07, 08 は、初期化操作で「ALL」を選択した場合のみに、初期化されます。
- 項目 No. 05, 06 の設定を変更すると、VITC (Vertical Interval Time Code) や Closed Caption (字幕) の出力レベルが変化します。
- の設定項目は、通常のメニューリセット操作で初期化されません。すでに調整された状態で出荷されています。

セットアップメニュー

BASIC メニュー

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
000	SUPER	0000 0001	OFF ON	MONITOR OUT 端子のスーパーの表示の有無を設定します。 0 : スーパーを表示しません。 1 : スーパーを表示します。
001	DISPLAY SEL	0000 0001 0002 0003	TIME T&STA T&R T&S&R	MONITOR OUT 端子のスーパーの表示内容を設定します。 0 : 時間のみ表示します。 1 : 時間と動作モードを表示します。 2 : 時間とテープ残量を表示します。 3 : 時間、動作モード、テープ残量を表示します。
002	CHARA H-POS	0000 0001 : 0003 : 0007	0 1 : 4 : 9	スーパーの水平方向文字位置を設定します。(10段階)
003	CHARA V-POS	0000 0001 : 0003 : 0007	0 1 : 3 : 22	スーパーの垂直方向文字位置を設定します。(23段階)
004	CHARA TYPE	0000 0001	WHITE W/OUT	スーパーおよびメニューの表示文字タイプを選択します。 0 : 白文字で、背景は黒のベタ塗り。 1 : 白文字で、黒の縁取り。

_____ は、工場出荷モードです。

< ノート >

項目「CHARA H-POS」および「CHARA V-POS」設定時、MODE ボタンを押しながら、DATA + ボタンまたは DATA - ボタンを押すと、一時的にカウンター表示となり、実際の状態を確認しながら設定することができます。

セットアップメニュー

OPERATION メニュー

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
100	LOCAL ENABLE	0000 0001	DIS ST&EJ	REMOTE 時、フロントパネルで操作可能なスイッチを選択します。 0 : 操作できない。 1 : STOP スイッチ、EJECT スイッチのみ操作可能。
101	TAPE TIMER	0000 0001	12H 24H	CTL カウンターの表示を選択します。 0 : ± 12 時間表示。 1 : 24 時間表示。
102	S/F/R EE SEL	0000 0001	EE TAPE	STOP、FF、REW 時の EE/VV 出力を選択します。 0 : E-E (Electric modulation to Electric play back) を出力する。 1 : V-V (VTR to VTR recording) を出力する。
103	WIDE MODE	0000 0001 0002	AUTO WIDE NORMAL	WIDE モードを選択します。 0 : 自動検知。 1 : 強制的に WIDE として扱う。 2 : 強制的に NORMAL として扱う。
104	TAPE IN MOD	0000 0001 0002 0003	STOP REW PAUSE PLAY	カセット投入時の動作を選択します。 0 : STOP 1 : REW 2 : PLAY PAUSE 3 : PLAY
105	TAPE END MOD	0000 0001 0002 0003	STOP REW REW EJ EJECT	テープが終端に達したときの動作を選択します。 0 : STOP 1 : REW 2 : REW し、巻き戻しが終了したら EJECT する。 3 : EJECT
106	AUTO BACK	0000 0001	OFF ON	つなぎ撮りのため、オートバックさせるかを選択します。 0 : オートバックしない。 1 : オートバックする。
107	FORMAT SEL	0000 0001 0002	DVCPRO DV DVCAM	L カセット使用時のフォーマットを選択します。 0 : DVCPRO モード。 1 : DV モード。 2 : DVCAM モード。
108	REC INHIBIT	0000 0001	OFF ON	VTR の記録禁止を選択します。 0 : 記録できる。 1 : 記録を禁止する。
109	CAP. LOCK	0000 0001	2F 4F	キャプスタンロックモードを選択します。 0 : 2F でロックする。 1 : 4F でロックする。
110	FF. REW MAX	0000 0001	X32 X60	FF・REW の最高速度を設定します。 0 : 32 倍速 1 : 60 倍速
111	MEMORY MODE	0000 0001 0002 0003	OFF M-STOP REPT1 CONT	メモリー動作を設定します。 0 : メモリー動作を行わない。 1 : FF/REW で BEGIN 付近で STOP する。 2 : END に達すると BEGIN まで REW して STOP する。 3 : END に達すると BEGIN まで REW し、PLAY することを繰り返す。
112	BGN PRESET			BEGIN 点を設定します。
113	END PRESET			END 点を設定します。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

INTERFACE メニュー

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
200	BAUD RATE	0000 0001 0002 <u>0003</u> 0004	1200 2400 4800 <u>9600</u> 19200	RS-232Cの通信速度(BAUD RATE)を設定します。
201	DATA LENGTH	<u>0000</u> 0001	<u>8BIT</u> 7BIT	RS-232Cのデータ長を設定します。
202	STOP BIT	<u>0000</u> 0001	<u>1BIT</u> 2BIT	RS-232Cのストップビット長を設定します。
203	PARITY	<u>0000</u> 0001 0002	<u>NONE</u> ODD EVEN	RS-232Cのパリティビットの有無、偶数、奇数を設定します。 0 : パリティビットを使用しない。 1 : パリティビットを奇数パリティで使用する。 2 : パリティビットを偶数パリティで使用する。
204	ACK RETURN	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	RS-232Cの返信データを設定します。 0 : ACK コードを返信しない。 1 : ACK コードを返信する。
205	232C ID SEL	<u>0000</u> 0001	<u>D250</u> D230	RS-232CのデバイスIDを設定します。 0 : AJ-D250のIDを返信する。 AJ-A250やパソコンにてコントロールする場合に設定してください。 1 : AJ-D230のIDを返信する。 AG-A571にてコントロールする場合に設定してください。 AG-A571にてコントロールする場合、本機を再生側のVTRとして使用することができます。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

TAPE PROTECT メニュー

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
400	STILL TIMER	0000	0.5s	STOP、PLAY PAUSE、STILL で放置された場合の、テープ保護モードになるまでの時間を選択します。 (単位 S : 秒、MIN : 分) ●REC PAUSE で放置された場合、テープ保護モードになるまでの時間設定は、2分に固定されています。
		0001	5s	
		0002	10s	
		0003	30s	
		0004	1min	
		0005	2min	
401	SRC PROTECT	0000	STEP	PAUSE 状態で放置されたときのテープ保護動作を設定します。 0 : STEP (STILL、PAUSE 時は STEP FWD、REC PAUSE 時は STEP REV) 1 : HALF LOADING (STANDBY OFF)
		0001	HALF	
402	DRUM STDBY	0000	OFF	STANDBY OFF 時にドラムを停止するモードを設定します。 0 : STANDBY OFF 時にドラムを停止する。 1 : ドラムが常時回転する。
		0001	ON	
403	STOP PROTECT	0000	STEP	STOP 状態で放置されたときのテープ保護動作を設定します。 0 : STEP 1 : HALF LOADING
		0001	HALF	

_____ は、工場出荷モードです。

< ノート >

民生用の DV フォーマットのテープでは、STILL TIMER を 30S、1MIN、2MIN に設定されている場合でも、10 秒でテープ保護モードになります。

セットアップメニュー

TIME CODE メニュー

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
500	VITC POS-1	0000 0001 : <u>0006</u> : 0010	10L 11L : <u>16L</u> : 20L	VITC 信号の挿入位置を設定します。 (VITC POS-2 と同じラインは選択できない。)
501	VITC POS-2	0000 0001 : <u>0008</u> : 0010	10L 11L : <u>18L</u> : 20L	VITC 信号の挿入位置を設定します。 (VITC POS-1 と同じラインは選択できない。)
502	VITC BLANK	0000 <u>0001</u>	BLANK THRU	VITC 信号を出力するかどうかを設定します。 0 : 出力しない。 1 : 出力する。
503	TCG REGEN	<u>0000</u> 0001 0002	TC&UB TC UB	TCG (タイムコードジェネレーター) がリジェネモード (項目 No. 506) のときに、REGEN (リジェネ) する信号を選択します。 0 : TC、UB 共に REGEN する。 1 : TC のみ REGEN する。 2 : UB のみ REGEN する。
504	BINARY GP	<u>0000</u> 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007	<u>000</u> 001 010 011 100 101 110 111	TCG の UB の使用状態を設定します。 0 : NOT SPECIFIED (キャラクタセットを使用しない。) 1 : ISO CHARACTER (ISO646、ISO2022 準拠 8BIT キャラクタセット) 2 : UNASSIGNED-1 (未定義) 3 : UNASSIGNED-2 (未定義) 4 : UNASSIGNED-3 (未定義) 5 : PAGE/LINE (SMPTE262M の Page/Line 多重システム) 6 : UNASSIGNED-4 (未定義) 7 : UNASSIGNED-5 (未定義)
505	DF MODE	<u>0000</u> 0001	<u>DF</u> NDF	CTL および TCG の DF/NDF を設定します。 0 : ドロップフレームモードで使用する。 1 : ノンドロップフレームモードで使用する。
506	TC MODE	0000 0001 <u>0002</u> 0003	P-REC P-FREE <u>I-REG</u> E-VITC	TCG のモードを設定します。 0 : 内部 TC の PRESET を REC RUN で使用する。 1 : 内部 TC の PRESET を FREE RUN で使用する。 2 : 内部 TC をリジェネモードで使用する。 3 : 入力映像信号の VITC をリジェネモードで使用する。
507	TC PRESET			TCG の値を設定します。
508	UB PRESET			ユーザビットの値を設定します。
509	TCG CF FLAG	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	TCG の CF フラグを ON するかどうかを設定します。 0 : CF フラグ OFF 1 : CF フラグ ON

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

VIDEO メニュー

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
600	VIDEO MODE	0000 0001	B/W COLOR	ビデオ信号の記録・再生を設定します。 0：白黒信号を用いる場合。 1：カラー信号を用いる場合。 ●白黒信号を記録・再生する場合は、B/Wモードに設定してご使用ください。 通常のカラー信号の場合は、COLORモードに設定してご使用ください。 ●カラー信号をB/Wモードで記録すると、再生時は異常着色します。
601	V-MUTE SEL	0000 0001	N-MUTE LOW-RF	再生時、LOW-RFまたはサーボロックが外れた場合の処理を選択します。 0：映像をミュートしない。 1：映像をミュートする。
602	CC (F1) BLANK	0000 0001	BLANK THRU	第1フィールドのクローズドキャプチャー信号のON/OFFを選択します。 0：強制的にブランキングする。 1：ブランキングしない。
603	CC (F2) BLANK	0000 0001	BLANK THRU	第2フィールドのクローズドキャプチャー信号のON/OFFを選択します。 0：強制的にブランキングする。 1：ブランキングしない。
604	FREEZE SEL	0000 0001	FIELD FRAME	PLAY PAUSE、コマ送り時における静止画面のフリーズモードを選択します。 0：フィールドフリーズ 1：フレームフリーズ
605	IN FRM DET	0000 0001	FORCED AUTO	入力信号のフレーム検出処理を選択します。 0：常にフレーム検出を行う。 1：ノンスタンダード信号のときのみ、フレーム検出を禁止する。
606	STD/NSTD SEL	0000 0001	AUTO NSTD	ビデオ信号処理を選択します。 0：自動的に入力に応じたモードにする。 1：強制ノンスタンダードモードにする。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

AUDIO メニュー

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
700	AUDIO EDIT IN	0000 0001	<u>CUT</u> FADE	デジタルオーディオ編集時における、IN点でのつなぎ方を選択します 0：カット処理をする。 1：フェード処理をする。
701	AUDIO EDIT OUT	0000 0001	<u>CUT</u> FADE	デジタルオーディオ編集時における、OUT点でのつなぎ方を選択します 0：カット処理をする。 1：フェード処理をする。
702	PB FADE	0000 0001 0002	AUTO CUT FADE	再生時における、音声の編集点 (IN点、OUT点、つなぎ撮り点) の処理選択します。 0：記録時の状態に従う。 1：強制的にカット処理をする。 2：強制的にフェード処理をする。
703	SEARCH CUE	0000 0001	OFF <u>ON</u>	SEARCHおよびFF/REW (VV)時、CUE AUDIOを出力するかを選択します。 0：出力しない。 1：出力する。
704	DV PB ATT	0000 0001	<u>OFF</u> ON	DVフォーマット再生時のAUDIO出力レベルを選択します。 0：通常再生レベル。 1：DVフォーマット再生時のみ出力レベルを制御する。
705	CUE INSERT	0000 0001	OFF <u>ON</u>	オーディオインサート編集時に、入力音声のCH1/CH2のMIX信号をCUE AUDIOに記録するかを選択します。 0：CUE AUDIOに記録しない。 1：CUE AUDIOに記録する。

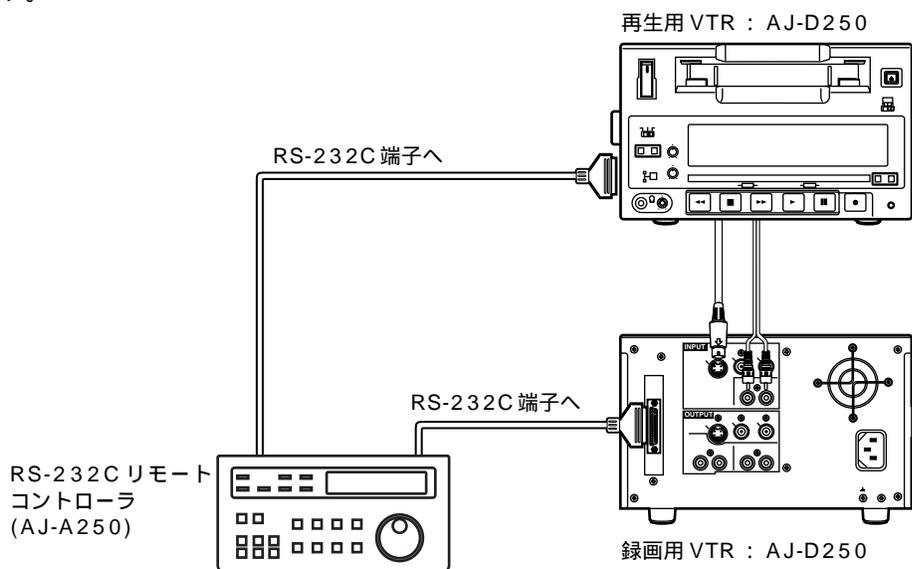
_____ は、工場出荷モードです。

RS-232C リモートコントローラを用いた編集

別売の RS-232C リモートコントローラ (AJ-A250) を使用して、直接コントローラから再生用と録画用の本機 2 台を制御することができ、アッセンブル編集やインサート編集などの作業をより速く、より効率的にできます。

準備：

- 図のように再生用 VTR と録画用の VTR を、RS-232C リモートコントローラに接続します。



- 再生用 VTR との接続に合わせて、INPUT SELECT スイッチを設定します。
S-VIDEO : S-VIDEO IN と AUDIO IN の端子に接続した場合
LINE : VIDEO IN と AUDIO IN の端子に接続した場合
- LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを REMOTE の位置にします。

< ノート >

再生用 VTR と録画用 VTR の REF VIDEO 入力に、ブラックバースト信号などの基準信号を入力すると、プレビュー時における画像の乱れを改善することができます。

操作：

RS-232C リモートコントローラを使用して、再生用 VTR と録画用 VTR の両方を制御します。

AJ-A250 の取扱説明書を注意して読んでください。

< ノート >

リモートコントローラとして AG-A571 を使用される場合は、セットアップメニュー項目 N0. 205 「232C ID SEL」で「D230」を選択してください。(34 ページ参照)

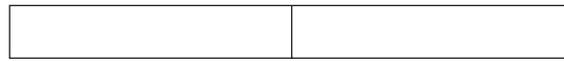
再生用 VTR として、本機を使用することができます。

デジタルオーディオ編集時における、編集点でのつなぎ方の選択 (セットアップメニュー No. 700. 701) の情報をテープ上に記録し、再生時にその情報を感知して、編集点を自動的に処理します。

ただし、再生フェード選択 (セットアップメニュー No. 702) が AUTO の場合に限りません。

カット処理

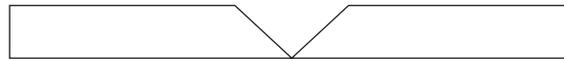
編集点でのつなぎ方 (セットアップメニュー No. 700. 701) で “ CUT ” を選択した場合



編集点でのつなぎ目でノイズが出る場合があります。

V フェード処理

編集点でのつなぎ方 (セットアップメニュー No. 700. 701) で “ FADE ” を選択した場合



瞬間的にVフェード処理をし、ノイズを消します。

< ノート >

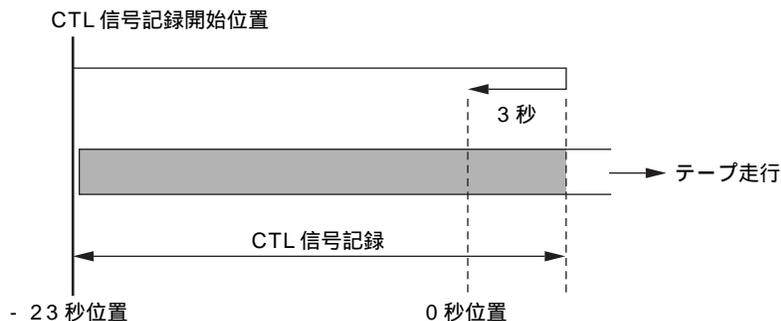
- 再生フェード選択 (セットアップメニュー No. 702) にて “ CUT ” を選択している場合、編集点でのつなぎ目は、全てカット処理されます。
- 再生フェード選択 (セットアップメニュー No. 702) にて “ FADE ” を選択している場合、編集点でのつなぎ目は、全てVフェード処理されます。
- インサート編集時に、インサート処理をする音声は、片方のチャンネルのみが選択されている場合、選択されていないチャンネルの音声は、ミュート処理されます。

First Edit 機能 (編集用テープの作成)

編集用のテープには、あらかじめ CTL (コントロール) 信号を記録しておく必要があります。アッセンブル編集を行う場合とインサート編集を行う場合とでは、CTL 信号の記録方法が異なります。

アッセンブル編集を行う場合の First Edit

アッセンブル編集を行うテープの場合、記録を開始する最初の部分に CTL 信号を記録しておきます。



インサート編集を行う場合の First Edit

インサート編集を行うテープの場合、記録を開始する最初から最後まで CTL 信号を記録しておきます。

CTL 信号が記録されていないテープにインサート編集を行うと、サーボロックエラー「E-00」がテープカウンターに表示されます。

インサート編集を行うときは、必ず CTL 信号をあらかじめ記録しておいてください。

< ノート >

First Edit を行う場合、別売の RS-232C リモートコントローラ (AJ-A250) を接続することで可能になりますが、パソコンからの RS-232C (EFE コマンド) による制御も可能です。

(54 ページ参照)

RS-232C

RS-232C インターフェイスを使用することにより、以下の機能が制御可能になります。

■ 基本動作

EJECT	INSERT
STOP	SEARCH PAUSE
PLAY	SEARCH SPEED UP
REC/PLAY	SEARCH SPEED DOWN
FF	FORWARD/ADVANCE
REW	REVERSE/ADVANCE
PAUSE	REVERSE/PLAY
COUNTER RESET	ダイレクトサーチ

■ ステータスの確認

現在の VTR モードを確認することができます。

■ 簡易編集機能

ビデオ・オーディオ・オーディオ/ビデオの、各種インサート編集を行うことができます。

■ サーチ機能

指定フレーム位置の検索が可能です。

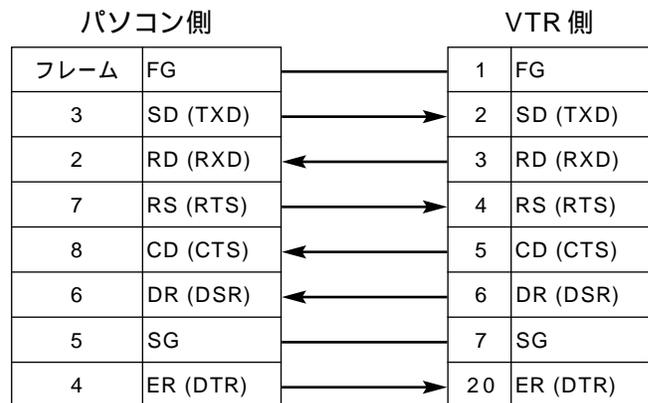
1. ハードウェア仕様

(1) インターフェイス仕様

コネクター： D-SUB 25 ピン
DCE 仕様 (ストレートケーブル対応)

ピン番号	信号	内 容
1	FG	Frame GND
2	SD (TXD)	Transmitted Data
3	RD (RXD)	Received Data
4	RS (RTS)	Request to Send
5	CD (CTS)	Clear to Send
6	DR (DSR)	Data Set Ready
7	SG	Signal GND
20	ER (DTR)	Data Terminal Ready

結線例



(2) 通信条件について

本機の通信条件は下記のとおりになっています。通信条件を変更する場合は、メニューにて変更してください。

Baud Rate	: 9600 bps
Bit Length	: 8 bit
Stop Bit	: 1 bit
Parity	: NONE

2. ソフトウェア仕様

(1) 外部インターフェイス仕様

通信方式	調歩同期式・全二重
通信速度	1200/2400/4800/9600/19200
ビット長	8 bit/7 bit
ストップビット	1 bit/2 bit
パリティ	NONE/ODD/EVEN

< ノート >

- 工場出荷時の設定は、9600 bps、8 bit、1STOP bit、NONE PARITYとなっています。
- 本機の受信バッファは127バイトです。

(2) 送信フォーマット (パソコン VTR)

■ データフォーマット

[STX] [discrimination] [:] [data] [ETX]
 02H XX XX XX 3AH XX……XX 03H

20H<XX<7FH (XX=16進キャラクターコード)

- discrimination : コマンド識別子 (3 バイト) です。
- : : コマンドとデータの区切りを意味するコードです。
- data : 必要に応じてデータコードを追加します。

1. 送信コマンドは、必ず STX (キャラクターコード 02H) で始まります。
次に続く discrimination がコマンドの識別です。
必要に応じて : (コロン) の後に data をつけ加えます。最後は、ETX (キャラクターコード 03H) で終了します。
2. ETX を送信する前に STX を再度送信すると、VTR 側の内部受信バッファはクリア (今まで受信したデータは破棄) され、再受信した STX を先頭にして新たにデータ処理をします。

(3) 受信フォーマット (VTR パソコン)

1 個の送信コマンドに対して VTR は、下記のフォーマットデータを応答してきます。

1. 最初に VTR は、パソコンからのコマンドが正しく受信されたかどうかのデータを返信します。

1) 通信が正常な場合 VTR は、ACK (Acknowledge) データを返信してきます。

```
[ACK]
06H
```

2) 通信に異常がある場合、VTR は NAK (Negative Acknowledge キャラクターコード 15H) で始まるデータを返信してきます。VTR が、データを送信中の場合は、データ送信後に NAK を返信してきます。このとき VTR は、エラーがあった受信データを全て破棄しています。

```
[NAK]
15H (XX)
```

- の内容
- 1 (31H) : Parity Error
- 3 (33H) : Framing Error
- 4 (34H) : Over Run Error

2. 次に、通信が正常なとき [ACK] を返信した後、VTR の動作により次のフォーマットでデータを返信します。

1) パソコンからのコマンドが、正しく VTR で受信された場合の応答データ (返信データ) フォーマットは、次のとおりです。

```
[STX] [data] [ETX]
02H XX...XX 03H
```

example:

送信コマンド 返信データ = 受信データ

```
[STX] QOP [ETX] [ACK] [STX] OEJ [ETX]
[STX] QCD [ETX] [ACK] [STX] CD [ETX]
```

2) 間違ったデータであったり、VTR 異常時は、受け取れない理由を示す内容を以下のフォーマットで返してきます。

```
[STX] E R 0 0 [ETX]
02H 45H 52H 30H 30H XX 03H
```

- の内容
- 1 (31H) : 対応していないコマンド、またはコマンド実行エラー
- 2 (32H) : データのコードが違うパラメーターエラー
- 3 (33H) : 受信バッファオーバーフローエラー

```
[STX] E R 1 0 [ETX]
02H 45H 52H 31H 30H XX 03H
```

- の内容
- 2 (32H) : フロントローディングエラー
- 3 (33H) : ローディングエラー
- 4 (34H) : ドラム・キャプスタン系エラー
- 5 (35H) : リール系エラー
- 6 (36H) : テンション系エラー
- 7 (37H) : ファンモーターエラー
- 8 (38H) : DEW エラー

```
[STX] E R 1 2 [ETX]
02H 45H 52H 31H 32H XX 03H
```

- の内容
- 0 (30H) : サーチエラー (始末端)
- 1 (31H) : サーチエラー (フロントパネル操作による中断)
- 2 (32H) : サーチエラー (目標位置なし)
- 3 (33H) : サーチエラー (コマンドによる中断)

```
[STX] E R 1 F F [ETX]
02H 45H 52H 31H 46H 46H 03H
```

システム (サーボ通信) エラー

< ノート >

パソコンなどを使用して VTR を制御する場合、十分動作を確認してご使用ください。VTR のステータス情報を確認しながら、制御することをお勧めします。

(4) コマンドリスト

COMMAND 一覧表

下の表はパソコン側から見た各モードに対する送信コマンド、動作の一覧表です。

なお、[STX]は 16 進コード 02H

[ETX]は 16 進コード 03H

: は 16 進コード 3AH

discrimination 部と data 部はその記号に対応する ASCII コードを意味します。

● オーディオ (Audio) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTR から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] AOC:m [ETX]	[STX] AOC [ETX]	オーディオ信号出力のチャンネル設定

● カウンター (Counter) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTR から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] CCP:data [ETX]	[STX] CCP [ETX]	CTL カウンターデータのプリセット (CLP と同様)
[STX] CDF [ETX]	[STX] CDF [ETX]	ドロップフレームモードの設定無効
[STX] CDN [ETX]	[STX] CDN [ETX]	ドロップフレームモードの設定有効
[STX] CHM:m [ETX]	[STX] CHM [ETX]	CTL 表示の 12 時間/24 時間モードの設定
[STX] CLP:data [ETX]	[STX] CLP [ETX]	CTL カウンターデータのプリセット (CCP と同様)
[STX] CRN:m [ETX]	[STX] CRN [ETX]	TCG がリジェネモードのときに、リジェネする信号を設定
[STX] CRR [ETX]	[STX] CRR [ETX]	TCG の REC RUN モード使用
[STX] CRT [ETX]	[STX] CRT [ETX]	CTL カウンターデータのリセット
[STX] CTC [ETX]	[STX] CTC [ETX]	カウンター値にタイムコードデータを使用するモード
[STX] CTF [ETX]	[STX] CTF [ETX]	TCG の FREE RUN モード使用
[STX] CTL [ETX]	[STX] CTL [ETX]	カウンター値に CTL データを使用するモード
[STX] CTM:m [ETX]	[STX] CTM [ETX]	TCG の使用モード設定
[STX] CTP [ETX]	[STX] CTP [ETX]	TCG のプリセットモード使用
[STX] CTR [ETX]	[STX] CTR [ETX]	TCG のリジェネモード使用
[STX] CTS:data [ETX]	[STX] CTS [ETX]	TCG データのプリセット
[STX] CUS:data [ETX]	[STX] CUS [ETX]	ユーザーズビットデータのプリセット
[STX] CVP:data [ETX]	[STX] CVP [ETX]	外部 VITC 挿入ラインの指定

RS-232C

● 表示 (Display) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTR から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] DFC:m [ETX]	[STX] DFC [ETX]	カウンターディスプレイの表示モード設定

● 編集 (Edit) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTR から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] EAB:m [ETX]	[STX] EAB [ETX]	オートバック記録の設定
[STX] EAD:m [ETX]	[STX] EAD [ETX]	AUDIO INSERT PAUSE
[STX] EIN [ETX]	[STX] EIN [ETX]	VIDEO INSERT PAUSE
[STX] EFE:data [ETX]	[STX] EFE [ETX]	FIRST EDIT

● メディア (Media) 操作制御コマンド

パソコンの送信データ	VTR から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] HRE:m [ETX]	[STX] HRE [ETX]	テープエンドの VTR 動作モード設定 (記録時)
[STX] HTE:m [ETX]	[STX] HTE [ETX]	テープエンドの VTR 動作モード設定 (記録時以外)
[STX] HTI:m [ETX]	[STX] HTI [ETX]	テープインの VTR 動作モード設定

● 入出力 (Input/Output) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTR から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] IEV:data [ETX]	[STX] IEV [ETX]	E-E 出力と V-V 出力の切り替え E-E: (Electric modulation to Electric play back) V-V: (VTR to VTR recording)

●動作 (Operation) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTR から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] OAF [ETX]	[STX] OAF [ETX]	Forward 方向へコマ送り
[STX] OAR [ETX]	[STX] OAR [ETX]	Reverse 方向へコマ送り
[STX] OBF [ETX]	[STX] OBF [ETX]	STANDBY OFF
[STX] OBN [ETX]	[STX] OBN [ETX]	STANDBY ON
[STX] OEJ [ETX]	[STX] OEJ [ETX]	EJECT
[STX] OFF [ETX]	[STX] OFF [ETX]	FAST FORWARD
[STX] OPA [ETX]	[STX] OPA [ETX]	PAUSE
[STX] OPL [ETX]	[STX] OPL [ETX]	PLAY
[STX] OPR [ETX]	[STX] OPR [ETX]	REVERSE PLAY
[STX] OPT:data [ETX]	[STX] OPT [ETX]	指定位置までの再生 (SPT と同様)
[STX] ORC [ETX]	[STX] ORC [ETX]	RECORD
[STX] ORP [ETX]	[STX] ORP [ETX]	RECORD PAUSE
[STX] ORW [ETX]	[STX] ORW [ETX]	REWIND
[STX] OSD [ETX]	[STX] OSD [ETX]	SHUTTLE SPEED DOWN
[STX] OSF:n [ETX]	[STX] OSF [ETX]	SHUTTLE FORWARD
[STX] OSL [ETX]	[STX] OSL [ETX]	スロー再生開始
[STX] OSP [ETX]	[STX] OSP [ETX]	STOP
[STX] OSR:n [ETX]	[STX] OSR [ETX]	SHUTTLE REVERSE
[STX] OSU [ETX]	[STX] OSU [ETX]	SHUTTLE SPEED UP
[STX] OTE:m [ETX]	[STX] OTE [ETX]	E-E 出力と V-V 出力を選択

● 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTR から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QAL [ETX]	[STX] ALV0 [ETX]	アドレスレベルの問い合わせ
[STX] QAO [ETX]	[STX] AOm [ETX]	オーディオ出力チャンネルの問い合わせ
[STX] QCA [ETX]	[STX] CUPdata [ETX]	TCG ヘブリセットしたユ・ザースビットデータの問い合わせ
[STX] QCB [ETX]	[STX] CUSdata [ETX]	TCG のユ・ザースビットデータの問い合わせ
[STX] QCC [ETX]	[STX] CCPdata [ETX]	カウンターデータの問い合わせ (QCD と同様)
[STX] QCD [ETX]	[STX] CDdata [ETX]	カウンターデータの問い合わせ (QCC と同様)
[STX] QCE [ETX]	[STX] CTEdata [ETX]	TCG プリセットデータの問い合わせ
[STX] QCF [ETX]	[STX] CDm [ETX]	ドロップフレームモードの問い合わせ
[STX] QCM [ETX]	[STX] CHMm [ETX]	CTL 表示の 12 時間 / 24 時間モードの問い合わせ
[STX] QCP [ETX]	[STX] CVPdata [ETX]	VITC 挿入ラインの問い合わせ
[STX] QCR [ETX]	[STX] CRNm [ETX]	TCG がリジェネモードのときに、リジェネする信号の問い合わせ
[STX] QCS [ETX]	[STX] CTSdata [ETX]	TCG データの問い合わせ
[STX] QCT [ETX]	[STX] CTdata [ETX]	TCG モードの問い合わせ
[STX] QCU [ETX]	[STX] CURdata [ETX]	TCR のユ・ザースビットデータの問い合わせ
[STX] QCW [ETX]	[STX] CTMm [ETX]	TCG モードの問い合わせ
[STX] QCZ [ETX]	[STX] CTZm [ETX]	TCR の読み込み状態の問い合わせ
[STX] QDF [ETX]	[STX] DFCm [ETX]	カウンターディスプレイ表示モードの問い合わせ
[STX] QEB [ETX]	[STX] EABm [ETX]	オートバック記録の問い合わせ
[STX] QHC [ETX]	[STX] HCMdata [ETX]	カセットテープ情報の問い合わせ
[STX] QHE [ETX]	[STX] HTEm [ETX]	テープエンドの VTR 動作モード設定 (記録時以外)
[STX] QHI [ETX]	[STX] HTIm [ETX]	テープインモードの問い合わせ
[STX] QHR:m [ETX]	[STX] HTRdata [ETX]	テープ残量の問い合わせ
[STX] QHT [ETX]	[STX] HREm [ETX]	テープエンドの VTR 動作モード設定 (記録時)
[STX] QIC [ETX]	[STX] 1 [ETX]	製品分野別コードの問い合わせ
[STX] QID [ETX]	[STX] data [ETX]	機器の ID コード問い合わせ
[STX] QIE [ETX]	[STX] IEVdata [ETX]	E-E 出力と V-V 出力の問い合わせ

● 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTR から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QLH:m [ETX]	[STX] LHRdata [ETX]	アワーメーターの問い合わせ
[STX] QOT [ETX]	[STX] OTEm [ETX]	E-E 出力と V-V 出力の問い合わせ
[STX] QOP [ETX]	[STX] data [ETX]	VTR 動作モードの問い合わせ
[STX] QOD:d1d2 [ETX]	[STX] OASdata [ETX]	各種動作モードの問い合わせ
[STX] QOS [ETX]	[STX] OPSdata [ETX]	各種動作モードの問い合わせ
[STX] QRA [ETX]	[STX] RAm [ETX]	ACK (Acknowledge) コード応答設定の問い合わせ
[STX] QRS [ETX]	[STX] RSEm [ETX]	サーチエンドモードの問い合わせ
[STX] QRV:m [ETX]	[STX] VERdata [ETX]	ソフトウェアのバージョン問い合わせ
[STX] QSM [ETX]	[STX] SMMm [ETX]	メモリーモードの問い合わせ
[STX] QSY [ETX]	[STX] SMILPdata [ETX]	メモリーインデータの問い合わせ
[STX] QSP:m [ETX]	[STX] SMPdata [ETX]	リピート位置の問い合わせ
[STX] QTT [ETX]	[STX] TSTdata [ETX]	スタンバイオフタイマー設定の問い合わせ
[STX] QVI [ETX]	[STX] VIm [ETX]	INPUT SELECT スイッチのポジション問い合わせ
[STX] QVM [ETX]	[STX] VMDm [ETX]	ビデオモード設定の問い合わせ

● 通信 (Communication) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTR から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] RAN [ETX]	[STX] RAN [ETX]	ACK (Acknowledge) コード返信機能有効
[STX] RAF [ETX]	[STX] RAF [ETX]	ACK (Acknowledge) コード返信機能無効
[STX] RCK [ETX]	[STX] RCK [ETX]	通信ラインのチェック
[STX] RSE:m [ETX]	[STX] RSE [ETX]	サーチエンドモードの設定

RS-232C

● 検索 (Search) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTR から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] SCP:data [ETX]	[STX] SCP [ETX]	カウンター値のサーチと再生
[STX] SCS:data [ETX]	[STX] SCS [ETX]	カウンター値のサーチと STILL (SRS と同様)
[STX] SMI:data [ETX]	[STX] SMI [ETX]	メモリーサーチデータの設定
[STX] SMM:m [ETX]	[STX] SMM [ETX]	メモリーモードの設定
[STX] SMP:data [ETX]	[STX] SMP [ETX]	リピート位置の指定
[STX] SMS [ETX]	[STX] SMS [ETX]	メモリーデータサーチ
[STX] SPT:data [ETX]	[STX] SPT [ETX]	指定位置までの再生 (OPT と同様)
[STX] SRS:data [ETX]	[STX] SRS [ETX]	カウンターデータサーチと STILL (SCS と同様)
[STX] SUB:data [ETX]	[STX] SUB [ETX]	ユーザーズビットサーチ

● タイマー (Timer) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTR から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] TST:data [ETX]	[STX] TST [ETX]	スタンバイオフタイマーの設定

■ オーディオ (Audio) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTR から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] AOC:m [ETX] パラメータ m = 1: CH1 2: CH2 3: CH3 4: CH4 5: CH1 & CH2 6: CH3 & CH4 7: CH1+3 & CH2+4	[STX] AOC [ETX]	オーディオ信号出力のチャンネルを設定します。 CH3 と CH4 は、DV フォーマットテープに 4 チャンネル記録されている場合に、再生出力が可能です。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

■ カウンター (Counter) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTR から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] CCP:data [ETX] パラメータ data = ghmmssff g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0 ~ 9: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム	[STX] CCP [ETX]	CTL カウンターに指定のカウンター値をプリセットします。 ドロップフレームモードのときに、ノンドロップフレームのプリセット値が設定された場合、下記の補正を行います。 00:01:00:00 00:00:59:28 00:01:00:01 00:00:59:29 < ノート > 検索制御コマンドの処理中と EJECT 中は、受け付けません。
[STX] CDF [ETX]	[STX] CDF [ETX]	ドロップフレームモードの設定を無効にします。 CTL とタイムコードをノンドロップフレームモードにします。 ただし、タイムコードは、記録時のときにノンドロップフレームが有効になります。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中や記録中、INSERT モードのときは、受け付けません。
[STX] CDN [ETX]	[STX] CDN [ETX]	ドロップフレームモードの設定を有効にします。 CTL とタイムコードをドロップフレームモードにします。 ただし、タイムコードは、記録時のときにドロップフレームが有効になります。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中や記録中、INSERT モードのときは、受け付けません。
[STX] CHM:m [ETX] パラメータ m = 1: 12 時間モード 2: 24 時間モード	[STX] CHM [ETX]	CTL 表示を 12 時間モードと 24 時間モードに設定します。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

■ カウンター (Counter) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTRから応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] CLP:data [ETX] パラメータ data = ghmmssff g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0 ~ 9: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム	[STX] CLP [ETX]	CTL カウンターに指定のカウンター値をプリセットします。 ドロップフレームモードのときに、ノンドロップフレームのプリセット値が設定された場合、下記の補正を行います。 00:01:00:00 00:00:59:28 00:01:00:01 00:00:59:29 < ノート > 検索制御コマンドの処理中と EJECT 中は、受け付けません。
[STX] CRN:m [ETX] パラメータ m = 0: TC & UB 1: TC 2: UB	[STX] CRN [ETX]	TCG (タイムコードジェネレーター) がリジネモードのときに、REGEN (リジネ) する信号を設定します。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] CRR [ETX]	[STX] CRR [ETX]	TCG を REC RUN モードで使用します。 TCG は、記録時にカウントアップします。 初期値は、CTS コマンドで設定できます。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中や記録中、INSERT モードのときは、受け付けません。
[STX] CRT [ETX]	[STX] CRT [ETX]	CTL カウンターデータをリセットします。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] CTC [ETX]	[STX] CTC [ETX]	カウンターディスプレイの表示モードと検索するときの基準データを、タイムコードデータで使用します。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] CTF [ETX]	[STX] CTF [ETX]	TCG を FREE RUN モードで使用します。 TCG は、モードに関係なく常にカウントアップし続けます。 初期値は、CTS コマンドで設定できます。 TCG は、設定終了後と再度 VTR の電源を ON したときに、カウントアップを開始します。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中や記録中、INSERT モードのときは、受け付けません。
[STX] CTL [ETX]	[STX] CTL [ETX]	カウンターディスプレイの表示モードと検索するときの基準データを、CTL データで使用します。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] CTM:m [ETX] パラメータ m = 0: REC RUN モード 1: FREE RUN モード 2: リジネモード 3: 外部 VITC モード	[STX] CTM [ETX]	TCG の使用するモードを設定します。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中や記録中、INSERT モードのときは、受け付けません。

■ カウンター (Counter) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTR から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] CTP [ETX]	[STX] CTP [ETX]	TCG をプリセットモードで使用します。 TCG は、設定終了後 REC RUN モードで、カウントアップを開始します。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中や記録中、INSERT モードのときは、受け付けません。
[STX] CTR [ETX]	[STX] CTR [ETX]	TCG をリジェネモードで使用します。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中や記録中、INSERT モードのときは、受け付けません。
[STX] CTS:data [ETX] パラメータ data = hhmmssff hh = 00 ~ 23: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム	[STX] CTS [ETX]	TCG のデータをプリセットします。 ドロップフレームモードのときに、ノンドロップフレームのプリセット値が設定された場合、下記の補正を行います。 00:01:00:00 00:00:59:28 00:01:00:01 00:00:59:29 TCG がリジェネモードや外部 VITC モードで使用されているときは、VTR からエラーコード ER001 が返信されます。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] CUS:data [ETX] パラメータ data = U7U6U5U4U7U3U2U1U0 書き込むユーザーズビットデータを ASCII コードで設定します。 UB data: Binary 4BIT×8 ASCII code: 0 ~ 9, A ~ F	[STX] CUS [ETX]	TCG ヘューザーズビットのデータをプリセットします。 TCG がリジェネモードや外部 VITC モードで使用されているときは、VTR からエラーコード ER001 が返信されます。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] CVP:data [ETX] パラメータ data = ppqq pp = 10 ~ 20: 挿入ライン 1 qq = 10 ~ 20: 挿入ライン 2 pp ≠ qq (pp と qq には同じ値が指定できません)	[STX] CVP [ETX]	外部 VITC を挿入する 2 つのラインを指定します。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中や記録中、INSERT モードのときは、受け付けません。

■ 表示 (Display) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTR から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] DFC:m [ETX] パラメータ m = C: CTL モード T: TC モード U: UB モード R: REMAIN モード	[STX] DFC [ETX]	カウンターディスプレイの表示モードと、検索するときの基準データを設定します。 CTL データ基準 : CTL モード TC データ基準 : TC モード、UB モード、REMAIN モード < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

■ 編集 (Edit) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTRから応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] EAB:m [ETX] パラメータ m = N: AUTO BACK ON F: AUTO BACK OFF	[STX] EAB [ETX]	つなぎ撮りのための、オートバック記録させるかを設定します。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中やオートバック中は、受け付けません。
[STX] EAD:m [ETX] パラメータ m = 0: CH1 & CH2 1: CH1 2: CH2 パラメータなし: CH1 & CH2	[STX] EAD [ETX]	VTRをAUDIO INSERT PAUSEモードにします。 VTRがVIDEO INSERT PAUSEモードのときは、AUDIO VIDEO INSERT PAUSEモードになります。 VTRがREC INHIBITのときは、VTRからエラーコードER001が返信され、STOPモードになります。 < ノート > VTRがPLAY PAUSEモードとSTILLモードのときに、受け付け可能です。
[STX] EIN [ETX]	[STX] EIN [ETX]	VTRをVIDEO INSERT PAUSEモードにします。 VTRがAUDIO INSERT PAUSEモードのときは、AUDIO VIDEO INSERT PAUSEモードになります。 VTRがREC INHIBITのときは、VTRからエラーコードER001が返信され、STOPモードになります。 < ノート > VTRがPLAY PAUSEモードとSTILLモードのときに、受け付け可能です。
[STX] EFE:data [ETX] パラメータ data = wghmmssff w = M: 26秒間の記録モード E: テープ終端までの記録モード ghmmssff = 編集する際の基準点 (記録開始点) ● CTLデータを基準とする場合 g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0 ~ 9: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム ● TCデータを基準とする場合 gh = 00 ~ 23: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム	[STX] EFE [ETX]	First Edit (編集用テープを作成するための記録) を行います。 パラメータで指定された位置を編集時の基準点として編集を行うため、基準点の23秒前の値でTCまたはCTLのプリセットを行い、26秒間またはテープ終端までブラックバーストの映像信号と、無音の音声信号を記録します。 動作中にOSP (STOP) コマンドが指示された場合は、VTRからエラーコードER123が返信されSTOPモードになります。 VTRのフロントパネルの操作により、VTRの動作モードが変更された場合は、VTRからエラーコードER121が返信されSTOPモードになります。 動作中にテープの終端位置になった場合は、VTRからエラーコードER120が返信されSTOPモードになります。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中や下記のモードのときは、受け付けません。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> EJECT、REC、REC PAUSE、INSERT、INSERT PAUSE </div>

< ノート >

インサート編集やアッセンブル編集を行うときは、下記のメニュー内容を変更してください。
 メニュー内容が変更されていない場合は、正しく編集操作が行えない場合があります。

メニュー項目	設定値	設定コマンド
AUTO BACK	ON	EAB:N
TC MODE	I-REG	CTM:2
TCG REGEN	TC & UB	CRN:0
MEMORY MODE	OFF	SMM:F
STILL TIMER	2 min	TST:0200

■メディア (Media) 操作制御コマンド

パソコンの送信データ	VTRから応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] HRE:m [ETX] パラメータ m = S: STOP R: REWIND E: EJECT M: REWIND and EJECT	[STX] HRE [ETX]	記録中に、テープ終端位置になったときのVTR動作モードを設定します。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] HTE:m [ETX] パラメータ m = S: STOP R: REWIND E: EJECT M: REWIND and EJECT	[STX] HTE [ETX]	再生中に、テープ終端位置になったときのVTR動作モードを設定します。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] HTI:m [ETX] パラメータ m = S: STOP W: REWIND P: PLAY M: PLAY PAUSE	[STX] HTI [ETX]	テープ挿入時のVTR動作モードを設定します。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

■入出力 (Input/Output) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTRから応答してくる返信データ	コマンドの内容						
[STX] IEV:data [ETX] パラメータ data = m1m2 m1 = 0 ~ F: BIT7 ~ BIT4 のデータの指定 m2 = 0 ~ F: BIT3 ~ BIT0 のデータの指定	[STX] IEV [ETX]	強制的に E-E (Electric modulation to Electric play back) 出力への切り替えを行います。 画像の出力状態が V-V (VTR to VTR recording) 出力の場合、強制的に E-E 出力に切り替えます。 IEV:00 により、強制 E-E 出力が解除され、通常の状態に戻ります。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。						
パラメータ	m1 (16進表示)							
対応BIT	BIT7	BIT6	BIT5	BIT4	BIT3	BIT2	BIT1	BIT0
切り替えデータ	0	0	0	0	AUDIO CH1	AUDIO CH2	VIDEO	TC

■動作 (Operation) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTRから応答してくる返信データ	コマンドの内容	
[STX] OAF [ETX]	[STX] OAF [ETX]	テープを Forward 方向へコマ送りします。	
[STX] OAR [ETX]	[STX] OAR [ETX]	テープを Reverse 方向へコマ送りします。	
[STX] OBF [ETX]	[STX] OBF [ETX]	VTR を STANDBY OFF モードにします。 < ノート > VTR が STOP モードや PLAY モード、STILL モードのときに受け付け可能です。	
[STX] OBN [ETX]	[STX] OBN [ETX]	VTR を STANDBY ON (STOP) モードにします。 < ノート > VTR が STANDBY OFF モードのときに受け付け可能です。	
[STX] OEJ [ETX]	[STX] OEJ [ETX]	カセットテープを EJECT します。	
[STX] OFF [ETX]	[STX] OFF [ETX]	テープを早送りします。	
[STX] OPA [ETX]	[STX] OPA [ETX]	VTR を一時停止モード (REC PAUSE、PLAY PAUSE) または、一時停止解除モード (REC、PLAY) にします。	
[STX] OPL [ETX]	[STX] OPL [ETX]	テープを再生します。	
[STX] OPR [ETX]	[STX] OPR [ETX]	テープ Reverse 方向へ再生 (SHUTTLE の - 1 倍速) します。	
[STX] OPT:data [ETX] パラメータ data = wghmmssff ● CTL データを基準とする場合 w = L: CTL データ基準 g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0 ~ 9: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム ● TC データを基準とする場合 w = S: TC データ基準 gh = 00 ~ 23: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム	[STX] OPT [ETX]	パラメータで指定された位置まで再生します。 再生終了後は、VTR が STILL モードになります。 指定された位置が、現在の位置よりも以前の場合は、再生せずに STILL モードになります。 動作中に OSP (STOP) コマンドや OEJ (テープ EJECT) コマンドが指示された場合は、VTR からエラーコード ER123 が返信されます。 VTR のフロントパネル操作により、VTR の動作モードが変更された場合は、VTR からエラーコード ER121 が返信されます。 動作中にテープの終端になった場合は、VTR からエラーコード ER120 が返信されます。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中や下記のモードのときは、受け付けません。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>EJECT、REC、REC PAUSE、INSERT、INSERT PAUSE</td> </tr> </table>	EJECT、REC、REC PAUSE、INSERT、INSERT PAUSE
EJECT、REC、REC PAUSE、INSERT、INSERT PAUSE			
[STX] ORC [ETX]	[STX] ORC [ETX]	VTR を記録モードにします。 VTR が REC INHIBIT のときは、VTR からエラーコード ER001 が返信され、STOP モードになります。	
[STX] ORP [ETX]	[STX] ORP [ETX]	VTR を記録一時停止モードにします。 VTR が REC INHIBIT のときは、VTR からエラーコード ER001 が返信され、STOP モードになります。	
[STX] ORW [ETX]	[STX] ORW [ETX]	テープを巻き戻します。	

< ノート >

動作制御コマンドの受け付け条件は、RS-232C モード遷移表を参照してください。(75、76 ページ)

■動作 (Operation) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTRから応答してくる返信データ	コマンドの内容																								
[STX] OSD [ETX]	[STX] OSD [ETX]	<p>テープの再生速度を制御します。 OSLコマンドでVTRをSTILL PUASEモードにし、OSDコマンドを送信してください。OSDコマンドを送信する毎に、再生速度が下記の矢印方向にシフトしていきます。 再生速度が最低速度の場合は、それ以上シフトせずに、VTRからエラーコードER001が返信されます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>DVCPROフォーマットテープの場合 +32.0 → +16.0 → +9.5 → +4.1 → +1.85 → +1 → +0.43 → +0.3 → +0.1 +0.03 → STILL → -0.03 → -0.1 → -0.3 → -0.43 → -1 → -1.85 → -4.1 → -9.5 → -16.0 → -32.0</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>DVフォーマットテープの場合 +32.0 → +16.0 → +9.5 → +3.1 → +1.85 → +1 → +0.5 → +0.3 → +0.1 +0.03 → STILL → -0.03 → -0.1 → -0.3 → -0.5 → -1 → -1.85 → -3.1 → -9.5 → -16.0 → -32.0</p> </div>																								
<p>[STX] OSF:n [ETX] パラメータ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●DVCPROフォーマットテープの場合 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table> <tr><td>n = 0: STILL</td><td>6: ×1.85</td></tr> <tr><td>1: ×0.03</td><td>7: ×4.1</td></tr> <tr><td>2: ×0.1</td><td>8: ×9.5</td></tr> <tr><td>3: ×0.3</td><td>9: ×16.0</td></tr> <tr><td>4: ×0.43</td><td>A: ×32.0</td></tr> <tr><td>5: ×1</td><td></td></tr> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●DVフォーマットテープの場合 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table> <tr><td>n = 0: STILL</td><td>6: ×1.85</td></tr> <tr><td>1: ×0.03</td><td>7: ×3.1</td></tr> <tr><td>2: ×0.1</td><td>8: ×9.5</td></tr> <tr><td>3: ×0.3</td><td>9: ×16.0</td></tr> <tr><td>4: ×0.5</td><td>A: ×32.0</td></tr> <tr><td>5: ×1</td><td></td></tr> </table> </div>	n = 0: STILL	6: ×1.85	1: ×0.03	7: ×4.1	2: ×0.1	8: ×9.5	3: ×0.3	9: ×16.0	4: ×0.43	A: ×32.0	5: ×1		n = 0: STILL	6: ×1.85	1: ×0.03	7: ×3.1	2: ×0.1	8: ×9.5	3: ×0.3	9: ×16.0	4: ×0.5	A: ×32.0	5: ×1		[STX] OSF [ETX]	Forward方向のテープ再生速度を設定します。
n = 0: STILL	6: ×1.85																									
1: ×0.03	7: ×4.1																									
2: ×0.1	8: ×9.5																									
3: ×0.3	9: ×16.0																									
4: ×0.43	A: ×32.0																									
5: ×1																										
n = 0: STILL	6: ×1.85																									
1: ×0.03	7: ×3.1																									
2: ×0.1	8: ×9.5																									
3: ×0.3	9: ×16.0																									
4: ×0.5	A: ×32.0																									
5: ×1																										
[STX] OSL [ETX]	[STX] OSL [ETX]	VTRをSTILL PUASEモードにします。 OSLコマンドでVTRをSTILL PUASEモードにした後に、OSDコマンドやOSUコマンドが受け付けられます。																								
[STX] OSP [ETX]	[STX] OSP [ETX]	VTRをSTOPモードにします。 VTRがSTANDBY OFFのときは、STANDBY ONにします。																								

< ノート >

動作制御コマンドの受け付け条件は、RS-232Cモード遷移表を参照してください。(75、76ページ)

■動作 (Operation) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTRから応答してくる返信データ	コマンドの内容																								
<p>[STX] OSR:n [ETX]</p> <p>パラメータ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● DVCPRO フォーマットテープの場合 <table border="1"> <tr> <td>n = 0: STILL</td> <td>6: ×1.85</td> </tr> <tr> <td>1: ×0.03</td> <td>7: ×4.1</td> </tr> <tr> <td>2: ×0.1</td> <td>8: ×9.5</td> </tr> <tr> <td>3: ×0.3</td> <td>9: ×16.0</td> </tr> <tr> <td>4: ×0.43</td> <td>A: ×32.0</td> </tr> <tr> <td>5: ×1</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ● DV フォーマットテープの場合 <table border="1"> <tr> <td>n = 0: STILL</td> <td>6: ×1.85</td> </tr> <tr> <td>1: ×0.03</td> <td>7: ×3.1</td> </tr> <tr> <td>2: ×0.1</td> <td>8: ×9.5</td> </tr> <tr> <td>3: ×0.3</td> <td>9: ×16.0</td> </tr> <tr> <td>4: ×0.5</td> <td>A: ×32.0</td> </tr> <tr> <td>5: ×1</td> <td></td> </tr> </table>	n = 0: STILL	6: ×1.85	1: ×0.03	7: ×4.1	2: ×0.1	8: ×9.5	3: ×0.3	9: ×16.0	4: ×0.43	A: ×32.0	5: ×1		n = 0: STILL	6: ×1.85	1: ×0.03	7: ×3.1	2: ×0.1	8: ×9.5	3: ×0.3	9: ×16.0	4: ×0.5	A: ×32.0	5: ×1		[STX] OSR [ETX]	Reverse 方向のテープ再生速度を設定します。
n = 0: STILL	6: ×1.85																									
1: ×0.03	7: ×4.1																									
2: ×0.1	8: ×9.5																									
3: ×0.3	9: ×16.0																									
4: ×0.43	A: ×32.0																									
5: ×1																										
n = 0: STILL	6: ×1.85																									
1: ×0.03	7: ×3.1																									
2: ×0.1	8: ×9.5																									
3: ×0.3	9: ×16.0																									
4: ×0.5	A: ×32.0																									
5: ×1																										
[STX] OSU [ETX]	[STX] OSU [ETX]	<p>テープの再生速度を制御します。</p> <p>OSL コマンドで VTR を STILL PUASE モードにし、OSU コマンドを送信してください。OSU コマンドを送信する毎に、再生速度が下記の矢印方向にシフトしていきます。</p> <p>再生速度が最高速度の場合は、それ以上シフトせずに、VTR からエラーコード ER001 が返信されます。</p> <table border="1"> <tr> <td>DVCPRO フォーマットテープの場合</td> </tr> <tr> <td>-32.0 → -16.0 → -9.5 → -4.1 → -1.85 → -1 → -0.43 → -0.3 → -0.1 → -0.03 → STILL → +0.03 → +0.1 → +0.3 → +0.43 → +1 → +1.85 → +4.1 → +9.5 → +16.0 → +32.0</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>DV フォーマットテープの場合</td> </tr> <tr> <td>-32.0 → -16.0 → -9.5 → -3.1 → -1.85 → -1 → -0.5 → -0.3 → -0.1 → -0.03 → STILL → +0.03 → +0.1 → +0.3 → +0.5 → +1 → +1.85 → +3.1 → +9.5 → +16.0 → +32.0</td> </tr> </table>	DVCPRO フォーマットテープの場合	-32.0 → -16.0 → -9.5 → -4.1 → -1.85 → -1 → -0.43 → -0.3 → -0.1 → -0.03 → STILL → +0.03 → +0.1 → +0.3 → +0.43 → +1 → +1.85 → +4.1 → +9.5 → +16.0 → +32.0	DV フォーマットテープの場合	-32.0 → -16.0 → -9.5 → -3.1 → -1.85 → -1 → -0.5 → -0.3 → -0.1 → -0.03 → STILL → +0.03 → +0.1 → +0.3 → +0.5 → +1 → +1.85 → +3.1 → +9.5 → +16.0 → +32.0																				
DVCPRO フォーマットテープの場合																										
-32.0 → -16.0 → -9.5 → -4.1 → -1.85 → -1 → -0.43 → -0.3 → -0.1 → -0.03 → STILL → +0.03 → +0.1 → +0.3 → +0.43 → +1 → +1.85 → +4.1 → +9.5 → +16.0 → +32.0																										
DV フォーマットテープの場合																										
-32.0 → -16.0 → -9.5 → -3.1 → -1.85 → -1 → -0.5 → -0.3 → -0.1 → -0.03 → STILL → +0.03 → +0.1 → +0.3 → +0.5 → +1 → +1.85 → +3.1 → +9.5 → +16.0 → +32.0																										
<p>[STX] OTE:m [ETX]</p> <p>パラメータ</p> <p>m = E: E-E (Electric modulation to Electric play back)</p> <p>m = T: V-V (VTR to VTR recording)</p>	[STX] OTE [ETX]	VTR が STOP モードや FF モード、REW モード時に E-E 出力にするか、V-V 出力にするかを選択をします。																								

< ノート >

動作制御コマンドの受け付け条件は、RS-232C モード遷移表を参照してください。(75、76 ページ)

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTR から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QAL [ETX]	[STX] ALV0 [ETX]	MIS 規格のアドレスレベル 0 のみに対応します。
[STX] QAO [ETX]	[STX] AOm [ETX] m = 1: CH1 2: CH2 3: CH3 4: CH4 5: CH1 & CH2 6: CH3 & CH4 7: CH1+3 & CH2+4	オーディオ信号の出力チャンネルを問い合わせます。
[STX] QCA [ETX]	[STX] CUPdata [ETX] data = U7U6U5U4U7U3U2U1U0	TCG ヘプリセットした、ユーザーズビットのデータを問い合わせます。
[STX] QCB [ETX]	[STX] CUSdata [ETX] data = U7U6U5U4U7U3U2U1U0	TCG のユーザーズビットデータを問い合わせます。
[STX] QCC [ETX]	[STX] CCPdata [ETX] data = ghmmss ● CTL データの場合 g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0 ~ 9: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ● TC データの場合 gh = 00 ~ 23: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒	現在のカウンターデータ (秒単位) を問い合わせます。 カウンターディスプレイに表示されているモードにより、下記のデータを VTR から返信されます。 CTL モード: CTL データ TC モード、UB モード、REMAIN モード: TC データ
[STX] QCD [ETX]	[STX] CDdata [ETX] data = fwghmmssff ● CTL データの場合 f = F: Fine C: Coarse w = S: Search STILL P: Search PLAY g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0 ~ 9: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム ● TC データの場合 f = F: Fine C: Coarse w = S: Search STILL P: Search PLAY gh = 00 ~ 23: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム	現在のカウンターデータを問い合わせます。 カウンターディスプレイに表示されているモードにより、下記のデータを VTR から返信されます。 CTL モード: CTL データ TC モード、UB モード、REMAIN モード: TC データ

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTRから応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QCE [ETX]	[STX] CTedata [ETX] data = hhmmssff hh = 00 ~ 23: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム	TCGへプリセットした、時間データを問い合わせます。
[STX] QCF [ETX]	[STX] CDm [ETX] m = N: ドロップフレームモード F: ノンドロップフレームモード	ドロップフレームモードを問い合わせます。
[STX] QCM [ETX]	[STX] CHMm [ETX] m = 1: 12時間モード 2: 24時間モード	CTL表示が12時間モードか24時間モードかを問い合わせます。
[STX] QCP [ETX]	[STX] CVPdata [ETX] data = ppqq pp = 挿入ライン1 qq = 挿入ライン2	外部VITCを挿入する2つのライン設定を問い合わせます。
[STX] QCR [ETX]	[STX] CRNm [ETX] m = 0: TC & UB 1: TC 2: UB	TCG (タイムコードジェネレーター) がリジェネモードのときに、REGEN (リジェネ) する信号を問い合わせます。
[STX] QCS [ETX]	[STX] CTSdata [ETX] data = hhmmssff hh = 00 ~ 23: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム	TCGの時間データを問い合わせます。
[STX] QCT [ETX]	[STX] CTdata [ETX] data = mm mm = FR: リジェネモード RP: REC RUN モード FP: FREE RUN モード VR: 外部VITCモード	TCGの使用するモードを問い合わせます。
[STX] QCU [ETX]	[STX] CURdata [ETX] data = U7U6U5U4U7U3U2U1U0	TCRのユーザズビットデータを問い合わせます。
[STX] QCW [ETX]	[STX] CTMm [ETX] m = 0: REC RUN モード 1: FREE RUN モード 2: リジェネモード 3: 外部VITCモード	TCGの使用するモードを問い合わせます。
[STX] QCZ [ETX]	[STX] CTZm [ETX] m = 0: 読み込みNG 1: 読み込みOK	TCRの読み込み状態を問い合わせます。
[STX] QDF [ETX]	[STX] DFCm [ETX] m = C: CTLモード T: TCモード U: UBモード R: REMAINモード	カウンターディスプレイの表示モードを問い合わせます。

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTR から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QEB [ETX]	[STX] EABm [ETX] m = N: AUTO BACK ON F: AUTO BACK OFF	オートバック記録の設定を問い合わせます。
[STX] QHC [ETX]	[STX] HCMdata [ETX] data = C1C2C3C4 C1 = I: カセットイン O: カセットアウト C2 = E: 記録可能 D: 記録不可 N: テープなし C3 = S: S サイズカセット M: M サイズカセット L: L サイズカセット N: テープなし C4 = D: DV フォーマット P: DVCPRO フォーマット C: DVCAM フォーマット N: テープなし	カセットテープの情報を問い合わせます。
[STX] QHE [ETX]	[STX] HTEm [ETX] m = S: STOP R: REWIND E: EJECT M: REWIND and EJECT	記録以外の動作中にテープ終端位置になったときの、VTR 動作モードを問い合わせます。
[STX] QHI [ETX]	[STX] HTIm [ETX] m = S: STOP W: REWIND P: PLAY M: PLAY PAUSE	テープ挿入時の VTR 動作モードを問い合わせます。
[STX] QHR:m [ETX] パラメータ m = H 固定	[STX] HTRdata [ETX] data = hhmmss hh = 00 ~ 23: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 固定: 秒	テープ残量を問い合わせます。 未確定時やテープが EJECT されている場合は、data = FFFFFFFF が返信されます。
[STX] QHT [ETX]	[STX] HREm [ETX] m = S: STOP R: REWIND E: EJECT M: REWIND and EJECT	記録中にテープ終端位置になったときの、VTR 動作モードを問い合わせます。
[STX] QIC [ETX]	[STX] 1 [ETX]	製品分野別コードを問い合わせます。 本機はテープ機器の「1」を返信します。
[STX] QID [ETX]	[STX] data [ETX] data = AJ-D250 AJ-D230	機器の ID コードを問い合わせます。 セットアップメニュー No. 205 「232C ID SEL」の設定に応じて、ID コードを返信します。(34 ページ参照) 工場出荷設定では、テープ機器の「AJ-D250」を返信します。

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTRから応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QIE [ETX]	[STX] IEVdata [ETX] data = m1m2 m1 = 0 ~ F: BIT7 ~ BIT4 のデータの指定 m2 = 0 ~ F: BIT3 ~ BIT0 のデータの指定	強制 E-E 出力の設定を問い合わせます。
パラメータ	m1 (16進表示)	m2 (16進表示)
対応 BIT	BIT7 BIT6 BIT5 BIT4	BIT3 BIT2 BIT1 BIT0
切り替えデータ	0 0 0 0	AUDIO CH1 AUDIO CH2 VIDEO TC
[STX] QLH:m [ETX] パラメータ m = D: ドラムの回転積算時間 T: キャプスタンの回転積算時間 パラメータなし: ドラムの回転積算時間 (4桁)	[STX] LHRdata [ETX] data = mhhhhh m = D: ドラム T: キャプスタン hhhhh = 00000 ~ 99999: 回転積算時間 ● パラメータなしの場合 ドラムの回転積算時間を4桁で返信します。 data = hhhh hhhh = 0000 ~ 9999: 回転積算時間	アワーマーターの現在値を問い合わせます。
[STX] QOT [ETX]	[STX] OTEm [ETX] m = E: E-E (Electric modulation to Electric play back) m = T: V-V (VTR to VTR recording)	VTRがSTOPモードやFFモード、REWモード時にE-E出力にするか、V-V出力にするかを問い合わせます。

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTR から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QOP [ETX]	[STX] data [ETX] data = OSP: STOP OEJ: EJECT OFF: FAST FORWARD ORW: REWIND OSF: SHUTTLE FORWARD OSR: SHUTTLE REVERSE OSS: STILL OPL: PLAY OPP: PLAY PAUSE ORC: REC ORP: REC PAUSE OBF: STANDBY OFF SCS: COUNTER SEARCH (STILL) SCP: COUNTER SEARCH (PLAY) SRS: COUNTER SEARCH (STILL) SUB: UB SEARCH SPT: PLAY to OPT: PLAY to SMS: MEMORY SEARCH EAD: AUDIO INSERT EAP: AUDIO INSERT PAUSE EIN: VIDEO INSERT EIP: VIDEO INSERT PAUSE EVI: AUDIO & VIDEO INSERT EVP: AUDIO & VIDEO INSERT PAUSE EFE: FIRST EDIT	VTR の動作モードを問い合わせます。 現在の VTR の状態を検出し、ステータスコマンドを返信します。
[STX] QOD:d1d2 [ETX] パラメータ d1 = 0 ~ F: ステータスデータの番号を指定 d2 = 0 ~ F: ステータスデータのバイト数を指定	[STX] OASdata [ETX] data = AD0AD1AD2AD3AD4AD5AD6AD7AD8 AD9ADAADBADCADDADEADF < ノート > AD * の詳細は、ビットマップ一覧 (A) を参照してください。	各種動作モードを問い合わせます。 現在の VTR の状態を検出し、ビットマップの情報で送信します。VTR は、ビットマップの情報を ASCII コードに変換して返信します。 < ノート > パラメータで ADDRESSF を越える設定をした場合、ADDRESSF 以降のデータは保証できません。

RS-232C

● ビットマップ一覧 (A)

ADDRESS	BIT7	BIT6	BIT5	BIT4	BIT3	BIT2	BIT1	BIT0
AD 0	0	0	CASSETTE OUT	RF VIDEO MISSING	TAPE TROUBLE	HARD ERROR	0	LOCAL or MENU
AD 1	STANDBY	0	STOP	EJECT	REW	FF	REC	PLAY
AD 2	SERVO LOCK	0	SHUTTLE	0	0	TAPE DIRECTION	STILL	CUE UP COMPLETE
AD 3	0	0	0	0	0	0	0	0
AD 4	SELECT EE	FULL EE	0	EDIT	0	0	0	CUE UP
AD 5	0	INSERT	0	VIDEO	0	0	AUDIO CH2	AUDIO CH1
AD 6	0	LAMP STILL	LAMP FWD	LAMP REW	LAMP SPEED3	LAMP SPEED2	LAMP SPEED1	LAMP SPEED0
AD 7	0	0	0	0	0	0	0	0
AD 8	0	0	0	0	0	0	0	REC INHIBIT
AD 9	0	0	0	0	0	0	0	0
AD A	0	0	0	0	0	0	0	0
AD B	0	0	0	0	0	0	0	0
AD C	0	0	0	0	0	0	0	0
AD D	0	0	0	0	0	0	0	0
AD E	0	0	0	0	0	0	0	0
AD F	0	0	0	0	0	0	0	0

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTR から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QOS [ETX]	[STX] OPSdata [ETX] data = AD ₀ AD ₁ AD ₂ AD ₃ AD ₄ <ノート> AD *の詳細は、ビットマップ一覧 (B) を参照してください。	各種動作モードを問い合わせます。 現在のVTRの状態を検出し、ビットマップの情報で送信します。VTRは、ビットマップの情報をASCIIコードに変換して返信します。
[STX] QRA [ETX]	[STX] RAm [ETX] m = N: ACK ON F: ACK OFF	ACK (Acknowledge) コードの応答設定を問い合わせます。
[STX] QRS [ETX]	[STX] RSEm [ETX] m = 0: ノーマル 1: 完了コマンドなし 2: 完了コマンドなし/エラーなし	サーチエンドモードの設定を問い合わせます。
[STX] QRV:m [ETX] パラメータ m = A: AV SYSTEM CONTROL の ROM バージョン S: SUB CODE マイコンのバージョン C: CYLINDER SERVO の ROM バージョン R: REEL SERVO の ROM バージョン I: INTERFACE の ROM バージョン パラメータなし: INTERFACE の ROM バージョン	[STX] VERdata [ETX] data = d1d2.d3d4-d5d6-d7.d8d9 d1 ~ d9: ソフトウェアのバージョン	各マイコンに使用されているソフトウェアのバージョンを問い合わせます。
[STX] QSM [ETX]	[STX] SMMm [ETX] m = S: MEMORY STOP O: REPEAT ONE TIME A: CONTINUE F: OFF	メモリーモードを問い合わせます。
[STX] QSY [ETX]	[STX] SMILPdata [ETX] data = wwghmmssff ww = LP: CTL データ基準 SP: TC データ基準 g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0 ~ 9: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム	メモリーされたカウンター値を問い合わせます。

RS-232C

● ビットマップ一覧 (B)

ADDRESS	BIT7	BIT6	BIT5	BIT4	BIT3	BIT2	BIT1	BIT0
AD 0	FULL EE	SELECT EE	0	0	0	0	TAPE END (*)	TAPE TOP (*)
AD 1	SHORT PLAY	0	STANDBY	0	0	0	0	SERVO LOCK
AD 2	REC INHIBIT TAB	CASSETTE IN/OUT	0	VTR STATUS				
AD 3	TAPE DIRECTION	SHUTTLE SPEED						
AD 4	0	INSERT VIDEO	INSERT AUDIO CH1	INSERT AUDIO CH2	0	0	0	0

< * ノート >

TAPE END ビットおよび TAPE TOP ビットは、テープの始末端検出時に 1 を立て、QOS コマンドにより問い合わせられたとき 0 にクリアされます。

VTR STATUS DATA

BIT4 ~ BIT0	VTR STATUS	BIT4 ~ BIT0	VTR STATUS
1, 1, 1, 1, 1	INSERT PAUSE	0, 1, 0, 0, 1	PLAY PAUSE
1, 1, 1, 1, 0	INSERT	0, 1, 0, 0, 0	PLAY
0, 1, 1, 1, 0	SEARCH	0, 0, 0, 1, 1	FAST FORWARD
0, 1, 1, 0, 1	AUDIO INSERT PAUSE	0, 0, 0, 1, 0	REWIND
0, 1, 1, 0, 0	AUDIO INSERT	0, 0, 0, 0, 1	EJECT
0, 1, 0, 1, 1	RECORDING PAUSE	0, 0, 0, 0, 0	STOP
0, 1, 0, 1, 0	RECORDING		

SHUTTLE SPEED DATA

BIT4 ~ BIT0	SHUTTLE SPEED	BIT4 ~ BIT0	SHUTTLE SPEED
60	(±) × 9.5 以上	2A	(±) × 0.2 以上 ~ (±) × 0.43 未満
59	(±) × 3.0 以上 ~ (±) × 9.5 未満	20	(±) × 0.1 以上 ~ (±) × 0.2 未満
4A	(±) × 1.85 以上 ~ (±) × 3.0 未満	13	(±) × 0.03 以上 ~ (±) × 0.1 未満
40	(±) × 1.0 以上 ~ (±) × 1.85 未満	00	STILL
36	(±) × 0.43 以上 ~ (±) × 1.0 未満		

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTRから応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QSP:m [ETX] パラメータ m = B: BEGIN 点 E: END 点	[STX] SMPdata [ETX] data = pw:ghmmssff ● CTL データが基準の場合 pw = BP: BEGIN 点 EP: END 点 g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0 ~ 9: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム ● TC データが基準の場合 pw = BP: BEGIN 点 EP: END 点 gh = 00 ~ 23: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム	メモリーされたリピート位置を問い合わせます。 データがエントリーされていないときは、VTR からエラーコード ER001 が返信されます。
[STX] QTT [ETX]	[STX] TSTdata [ETX] data = mmmm mmmm = 0000: 0.5 秒 0005: 5 秒 0010: 10 秒 0030: 30 秒 0100: 1 分 0200: 2 分	メモリーされたスタンバイオフタイマーを問い合わせます。
[STX] QVI [ETX]	[STX] VIm [ETX] m = L: LINE S: S-VIDEO D: OPTION	INPUT SELECT スイッチのポジションを問い合わせます。
[STX] QVM [ETX]	[STX] VMDm [ETX] m = A: カラー B: モノクロ	カラーモードを問い合わせます。

■ 通信 (Communication) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTRから応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] RAN [ETX]	[STX] RAN [ETX]	ACK (Acknowledge) コードの返信を有効にします。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] RAF [ETX]	[STX] RAF [ETX]	ACK (Acknowledge) コードの返信を無効にします。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] RCK [ETX]	[STX] RCK [ETX]	通信が成立しているかをチェックします。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] RSE:m [ETX] パラメータ m = 0: ノーマル 1: 完了コマンドなし 2: 完了コマンドなし/エラーなし	[STX] RSE [ETX]	サーチ完了コマンドの送信タイミングと送信の可/不可を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ● ノーマルに設定 サーチ開始時：ACK コードを返信 サーチ完了時：[STX]□□□[ETX]を返信 サーチ中断時：[STX]ER□□□[ETX]を返信 ● 完了コマンドなしに設定 サーチ開始時：ACK コードを返信後に、 [STX]□□□[ETX]を返信 サーチ完了時：返信しない サーチ中断時：[STX]ER□□□[ETX]を返信 ● 完了コマンドなし/エラーなしに設定 サーチ開始時：ACK コードを返信後に、 [STX]□□□[ETX]を返信 サーチ完了時：返信しない サーチ中断時：返信しない < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

■ 検索 (Search) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTRから応答してくる返信データ	コマンドの内容
<p>[STX] SCP:data [ETX]</p> <p>パラメータ data = ghmmssff</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CTL データを基準とする場合 <ul style="list-style-type: none"> g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0 ~ 9: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム ● TC データを基準とする場合 <ul style="list-style-type: none"> gh = 00 ~ 23: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム 	[STX] SCP [ETX]	<p>パラメータで指定されたカウンター値を検索します。検索が終了すると、再生を開始します。</p> <p>指定された位置が、不正規な位置 (目標位置がない) の場合は、VTR からエラーコード ER122 が返信され STOP モードになります。</p> <p>動作中に OSP (STOP) コマンドや OEJ (テープ EJECT) コマンドが指示された場合は、VTR からエラーコード ER123 が返信されます。</p> <p>VTR のフロントパネル操作により、VTR の動作モードが変更された場合は、VTR からエラーコード ER121 が返信されます。</p> <p>動作中にテープの終端になった場合は、VTR からエラーコード ER120 が返信されます。</p> <p>基準にするデータとは異なるデータが送信されたときは、VTR からエラーコード ER001 が返信されます。</p> <p>< ノート ></p> <p>検索制御コマンドの処理中や下記のモードのときは、受け付けません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">EJECT、REC、REC PAUSE、INSERT、INSERT PAUSE</div>
<p>[STX] SCS:data [ETX]</p> <p>パラメータ data = ghmmssff</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CTL データを基準とする場合 <ul style="list-style-type: none"> g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0 ~ 9: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム ● TC データを基準とする場合 <ul style="list-style-type: none"> gh = 00 ~ 23: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム 	[STX] SCS [ETX]	<p>パラメータで指定されたカウンター値を検索します。検索が終了すると、STILL モードになります。</p> <p>指定された位置が、不正規な位置 (目標位置がない) の場合は、VTR からエラーコード ER122 が返信され STOP モードになります。</p> <p>動作中に OSP (STOP) コマンドや OEJ (テープ EJECT) コマンドが指示された場合は、VTR からエラーコード ER123 が返信されます。</p> <p>VTR のフロントパネル操作により、VTR の動作モードが変更された場合は、VTR からエラーコード ER121 が返信されます。</p> <p>動作中にテープの終端になった場合は、VTR からエラーコード ER120 が返信されます。</p> <p>基準にするデータとは異なるデータが送信されたときは、VTR からエラーコード ER001 が返信されます。</p> <p>< ノート ></p> <p>検索制御コマンドの処理中や下記のモードのときは、受け付けません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">EJECT、REC、REC PAUSE、INSERT、INSERT PAUSE</div>

■ 検索 (Search) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTRから応答してくる返信データ	コマンドの内容
<p>[STX] SMI:data [ETX]</p> <p>パラメータ data = wwghmmsff</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カウンター値をメモリーする場合 ww = LC: CTL データ基準 SC: TC データ基準 ghmmsff は省略します。 ● CTL データを基準とするパラメータ値をメモリーする場合 ww = LP: CTL データ基準 g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0 ~ 9: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム ● TC データを基準とするパラメータ値をメモリーする場合 ww = SP: TC データ基準 gh = 00 ~ 23: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム 	[STX] SMI [ETX]	<p>コマンドを受信したときのカウンター値とパラメータ値をメモリーします。</p> <p>< ノート > 検索制御コマンドの処理中やは、受け付けません。</p>
<p>[STX] SMM:m [ETX]</p> <p>パラメータ</p> <p>m = S: MEMORY STOP O: REPEAT ONE TIME A: CONTINUE F: OFF</p>	[STX] SMM [ETX]	<p>メモリーモードを設定します。</p> <p>< ノート > 検索制御コマンドの処理中やは、受け付けません。</p>

■ 検索 (Search) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTR から応答してくる返信データ	コマンドの内容
<p>[STX] SMP:data [ETX]</p> <p>パラメータ data = pww:ghmmsff</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カウンター値をメモリーする場合 <ul style="list-style-type: none"> p = B: BEGIN 点 E: END 点 ww = LC: CTL データ基準 SC: TC データ基準 ghmmsff は省略します。 ● CTL データを基準とするパラメータ値をメモリーする場合 <ul style="list-style-type: none"> p = B: BEGIN 点 E: END 点 ww = LP: CTL データ基準 g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0 ~ 9: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム ● TC データを基準とするパラメータ値をメモリーする場合 <ul style="list-style-type: none"> p = B: BEGIN 点 E: END 点 ww = SP: TC データ基準 gh = 00 ~ 23: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム ● 指定位置をエントリーしない場合 <ul style="list-style-type: none"> data = BN: BEGIN 点 NO ENRTY EN: END 点 NO ENRTY 	<p>[STX] SMP [ETX]</p>	<p>リピート位置を設定します。</p> <p>BEGIN 点と END 点異なるモードで指定された場合、VTR 内部で変換し、最後に指定されたモードで設定します。</p> <p>パラメータ「ff」は、VTR 内部において「00」として処理されます。</p> <p>< ノート ></p> <p>検索制御コマンドの処理中や、受け付けません。</p>

■ 検索 (Search) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTRから応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] SMS [ETX]	[STX] SMS [ETX]	<p>メモリーされたコマンドを受信したときのカウンター値を検索します。</p> <p>検索が終了すると、STILLモードになります。</p> <p>指定された位置が、不正規な位置(目標位置がない)の場合は、VTRからエラーコードER122が返信されSTOPモードになります。</p> <p>動作中にOSP(STOP)コマンドやOEJ(テープEJECT)コマンドが指示された場合は、VTRからエラーコードER123が返信されます。</p> <p>VTRのフロントパネル操作により、VTRの動作モードが変更された場合は、VTRからエラーコードER121が返信されます。</p> <p>動作中にテープの終端になった場合は、VTRからエラーコードER120が返信されます。</p> <p>基準にするデータとは異なるデータが送信されたときや、カウンター値がメモリーされていない場合は、VTRからエラーコードER001が返信されます。</p> <p><ノート> 検索制御コマンドの処理中や下記のモードのときは、受け付けません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">EJECT、REC、REC PAUSE、INSERT、INSERT PAUSE</div>
[STX] SPT:data [ETX] パラメータ data = ghmmssff ●CTLデータを基準とする場合 g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0 ~ 9: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム ●TCデータを基準とする場合 gh = 00 ~ 23: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム	[STX] SPT [ETX]	<p>パラメータで指定された位置まで再生します。</p> <p>再生終了後は、VTRがSTILLモードになります。</p> <p>指定された位置が、現在の位置よりも以前の場合は、再生せずにSTILLモードになります。</p> <p>動作中にOSP(STOP)コマンドやOEJ(テープEJECT)コマンドが指示された場合は、VTRからエラーコードER123が返信されます。</p> <p>VTRのフロントパネル操作により、VTRの動作モードが変更された場合は、VTRからエラーコードER121が返信されます。</p> <p>動作中にテープの終端になった場合は、VTRからエラーコードER120が返信されます。</p> <p><ノート> 検索制御コマンドの処理中や下記のモードのときは、受け付けません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">EJECT、REC、REC PAUSE、INSERT、INSERT PAUSE</div>

■ 検索 (Search) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTRから応答してくる返信データ	コマンドの内容
<p>[STX] SRS:data [ETX]</p> <p>パラメータ data = wghmmssff</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CTL データを基準とする場合 <ul style="list-style-type: none"> w = L: CTL データ基準 g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0 ~ 9: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム ● TC データを基準とする場合 <ul style="list-style-type: none"> w = S: TC データ基準 gh = 00 ~ 23: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム 	[STX] SRS [ETX]	<p>パラメータで指定されたカウンター値を検索します。 検索が終了すると、STILL モードになります。 指定された位置が、不正規な位置 (目標位置がない) の場合は、VTR からエラーコード ER122 が返信され STOP モードになります。 動作中に OSP (STOP) コマンドや OEJ (テープ EJECT) コマンドが指示された場合は、VTR からエラーコード ER123 が返信されます。 VTR のフロントパネル操作により、VTR の動作モードが変更された場合は、VTR からエラーコード ER121 が返信されます。 動作中にテープの終端になった場合は、VTR からエラーコード ER120 が返信されます。 基準にするデータとは異なるデータが送信されたときは、VTR からエラーコード ER001 が返信されます。</p> <p>< ノート > 検索制御コマンドの処理中や下記のモードのときは、受け付けません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">EJECT、REC、REC PAUSE、INSERT、INSERT PAUSE</div>
<p>[STX] SUB:data [ETX]</p> <p>パラメータ data = uuuuuuuu:d</p> <p>u = 0 ~ F: ユーザーズビット値 (検索しないユーザーズビット値には * を指定します。)</p> <p>d = F: Forward 方向 R: Reverse 方向</p>	[STX] SUB [ETX]	<p>パラメータで指定されたユーザーズビットの先頭位置を検索します。 検索が終了すると、STILL モードになります。 5 秒以上同一のユーザーズビット値が連続する場合に検索可能です。 動作中に OSP (STOP) コマンドや OEJ (テープ EJECT) コマンドが指示された場合は、VTR からエラーコード ER123 が返信されます。 VTR のフロントパネル操作により、VTR の動作モードが変更された場合は、VTR からエラーコード ER121 が返信されます。 動作中にテープの終端になった場合は、VTR からエラーコード ER120 が返信されます。</p> <p>< ノート > 検索制御コマンドの処理中や下記のモードのときは、受け付けません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">EJECT、REC、REC PAUSE、INSERT、INSERT PAUSE</div>

■ タイマー (Timer) 制御コマンド

パソコンの送信データ	VTRから応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] TST:data [ETX] パラメータ data = mmmm mmmm = 0000: 0.5 秒 0005: 5 秒 0010: 10 秒 0030: 30 秒 0100: 1 分 0200: 2 分	[STX] TST [ETX]	スタンバイオフタイマーを設定します。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

RS-232C

■ モード遷移表

返信 コマンド	VTR STATUS											
	STOP	STANDBY OFF	EJECT	PLAY	REW	FF	PLAY PAUSE	REC	REC PAUSE	SHORT PLAY	AUTO BACK	SEARCH
OSP		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
OEJ	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○
OPL	○	○	×		○	○	○	×	×	×	×	○
ORW	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○
OFF	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○	○
OPA	○	○	×	○	○	○	PLAY	REC PAUSE	REC	REC PAUSE	REC	○
ORC	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○
ORP	○	○	×	○	×	×	○	○		○	○	×
EIN	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
EAD	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
EFE	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○
OAF	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
OAR	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
OPR	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○
OSL	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○
OSF	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○
OSR	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○
検索 コマンド	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○

<ノート>

- : 返信コマンドのモードに、動作が変化します。
- ×
- × : エラーコード ER001 を返信し、実行不可能になります。
- : 動作状態を維持します。

OPA コマンド : OPA コマンドは、現在の動作モードから別の動作モードになる場合があります。
 検索コマンド : OPT、SCP、SCS、SMS、SPT、SRS、SUB

■ モード遷移表

返信 コマンド	VTR STATUS								検索コマンド 処理中 (CUE UP など)
	STILL	VIDEO INSERT	VIDEO INSERT PAUSE	AUDIO INSERT	AUDIO INSERT PAUSE	A/V INSERT	A/V INSERT PAUSE	FIRST EDIT	
OSP	○	○	○	○	○	○	○	○	○
OEJ	○	×	×	×	×	×	×	×	○
OPL	○	×	×	×	×	×	×	×	×
ORW	○	×	×	×	×	×	×	×	×
OFF	○	×	×	×	×	×	×	×	×
OPA	PLAY	PLAY PAUSE	VIDEO INSERT	PLAY PAUSE	AUDIO INSERT	PLAY PAUSE	A/V INSERT	×	×
ORC	○	×	×	×	×	×	×	×	×
ORP	○	×	×	×	×	×	×	×	×
EIN	○	×		×	A/V INSERT PAUSE	×		×	×
EAD	○	×	A/V INSERT PAUSE	×		×		×	×
EFE	○	×	×	×	×	×	×	×	×
OAF	×	×	×	×	×	×	×	×	×
OAR	×	×	×	×	×	×	×	×	×
OPR	○	×	×	×	×	×	×	×	×
OSL	○	×	×	×	×	×	×	×	×
OSF	○	×	×	×	×	×	×	×	×
OSR	○	×	×	×	×	×	×	×	×
検索 コマンド	○	×	×	×	×	×	×	×	×

< ノート >

- : 返信コマンドのモードに、動作が変化します。
- ×
- × : エラーコード ER001 を返信し、実行不可能になります。
- : 動作状態を維持します。

OPA コマンド : OPA コマンドは、現在の動作モードから別の動作モードになる場合があります。
 検索コマンド : OPT、SCP、SCS、SMS、SPT、SRS、SUB

(5) RS-232C 通信注意事項

■ 送信コマンドと VTR からの返信データについて

1. フロントパネルの LOCAL/MENU/REMOTE スイッチの位置が、「REMOTE」以外の場合は、RS-232C による正常なコントロールが行えません。
スイッチの位置が「REMOTE」以外の場合、Q コマンド (問い合わせコマンド) 以外のコマンドを送信した場合、エラーコード ER001 を返信します。
2. 下記のコマンドを送信したときは、処理が終了するまで受け付け可能なコマンドに制限があります。

OPT、SCP、SCS、SMS、SPT、SRS、 SUB、EFE

受け付け可能なコマンド

- Q コマンド (問い合わせコマンド)
- OSP コマンド (STOP)
- OEJ コマンド (EJECT)

受け付け可能なコマンド以外のコマンドを送信した場合、エラーコード ER001 を返信します。

■ 送信コマンドの間隔について

AJ-D250 はマルチマイクロコンピュータの VTR です。VTR 内部のシステムコントロールマイコンに何らかの処理をさせる場合、VTR 内部の RS-232C インターフェースマイコンと、システムコントロールマイコンとの間での通信のための時間 (約 150 msec) が必要です。

パソコンからコマンドを送信する時は、150 msec 以上の間隔をあけてください。

エラーメッセージ

装置に異常が発生した場合には、テープカウンターに下記のエラーメッセージが表示されます。

エラー番号	内 容	エラー番号	内 容
— d —	露付き。	E-51	キャプスタンモーターから FG 信号 (回転速度信号) が出力されていません。
E-00	サーボが 3 秒以上ロックしないとき表示されます。 セットアップメニュー No. 001 を「T&S&R」に設定しているときは、モニター画面 3 行目 (テープ残量の行) に「SERVO NOT LOCKED」が表示されます。	E-52	キャプスタンモーターの回転数が異常に高い。
E-01	1 秒以上ヘッド出力がないとき (目づまり等) 表示されます。 このとき、モニター画面の 1 行目 (カウンターの行) に「L」が表示されます。 また、セットアップメニュー No. 001 を「T&S&R」に設定しているときは、3 行目 (テープ残量の行) に「LOW RF」が表示されます。	E-53	キャプスタンモーターの回転数が異常に低い。
E-09	テープのブランク部分を検出したとき表示されます。 このとき、モニター画面の 1 行目 (カウンターの行) に「N」が表示されます。 また、セットアップメニュー No. 001 を「T&S&R」に設定しているときは、3 行目 (テープ残量の行) に「NO RF」が表示されます。 下記の条件を全て満たしたとき、ブランク部分として認識します。 ● 全てのヘッド出力が無い。 ● 再生データが読み取れない。 ● CTL が無い。	E-61	S リールモーターがロックされています。
E-11	テープの大きさに合わせて動作するリール台が 2.5 秒以上ロックされています。	E-62	T リールモーターがロックされています。
E-21	カセット挿入後、4 秒経過してもカセットダウンしません。 もしくは、EJECT 後、4 秒経過してもカセットが出てきません。	E-63	S リールモーターの回転数が異常に高い。
E-31	ローディング動作が 4 秒以内に完了しません。	E-64	T リールモーターの回転数が異常に高い。
E-32	アンローディング動作が 4 秒以内に完了しません。	E-65	テンション異常を検出しました。
E-41	シリンダーモーターから FG 信号 (回転速度信号) が出力されていません。	E-66	始末端処理動作が 7 秒以上経過しても終了していません。
E-42	シリンダーモーターから PG 信号 (位相信号) が出力されていません。	E-67	SERVO AVSYS 間の通信エラーです。データに異常があります。
E-43	シリンダーモーターの回転数が異常に高い。	E-68	SERVO AVSYS 間の通信エラーです。データが High もしくは Low に固定されています。
E-44	シリンダーモーターの回転数が異常に低い。	E-69	電源投入時、SERVO AVSYS 間の通信に異常があります。
		E-6B	IF AVSYS 間の通信エラーです。内部基準または、外部基準に異常があります。
		E-70	ファンモーターが停止しています。 このとき、モニター画面の 1 行目 (カウンターの行) に「S」が表示されます。 また、セットアップメニュー No. 001 を「T&S&R」に設定しているときは、3 行目 (テープ残量の行) に「FAN STOP」が表示されます。 約 1 時間経過すると、自動的に停止します。
		E-72	ソレノイド駆動回路に異常があります。
		E-73	クリーニングソレノイド駆動回路に異常があります。

EMERGENCY イジェクト

緊急時に手動でテープを取り出す手順

EJECT ボタンを押しても、カセットテープを取り出せないときは、下記の方法で取り出すことができます。

- 必ず、本機の電源を OFF にした状態で行ってください。

- ① トップパネルを外します。
- ② 赤いプラスチックのねじ部を、プラスドライバーで押し込みながら、反時計方向に回します。
(アンローディングを開始するまで、約 30 回転必要です。)
- ③ 巻き取り治具 (同梱品) をテープ引き出し口 (VTR のメカニズム側) より差し込み、S リールのフランジ部 (白いギヤ) を、巻き取り治具のゴム部で巻き取り方向に回転させ、テープのたるみを取ります。

< ノート >

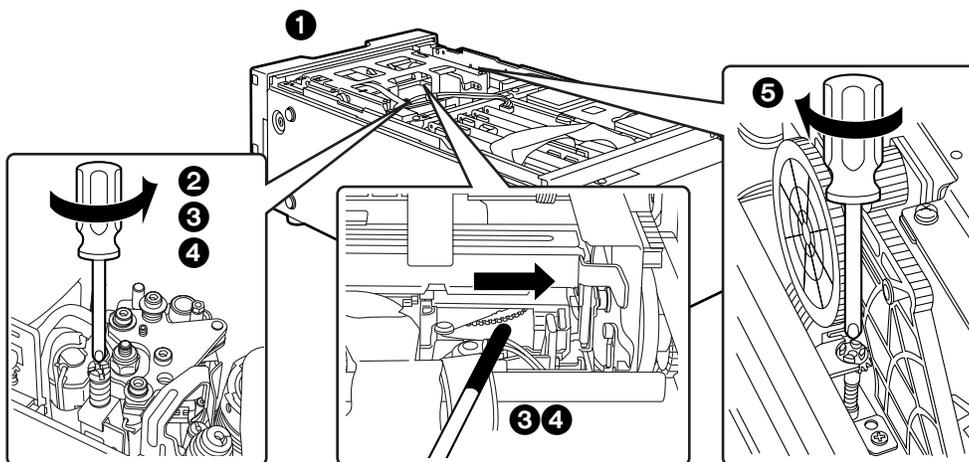
テープを傷つけないように、注意してください。

- ④ 再度、赤いプラスチックのねじ部を、プラスドライバーで押し込みながら、反時計方向に回し、S リールのフランジ部を、巻き取り方向に回転させて、テープのたるみを取ります。
テープが完全にカセットケースに納まるまで、約 90 回転 (赤いプラスチックのねじ部) この操作を繰り返します。

- ⑤ スロットイン側の赤いプラスチックのねじ部を、プラスドライバーで時計方向に回し、カセットテープを取り出します。
(テープがイジェクトするまで、約 140 回転必要です。)

< ノート >

カセットの蓋が閉じるときに、テープが噛み込まないように、注意してください。



ビデオヘッドクリーニング

本機には、自動的にヘッドの汚れを軽減するオートヘッドクリーニング機能が付いていますが、より信頼性を高めるために適時ビデオヘッドを清掃することをお勧めいたします。
なお、具体的なクリーニング方法についてはサービス会社または販売会社にご相談ください。

結露

露付きが起こるのは、暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴(露)がつくのと同一原理です。
本機やテープを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気が立ちこもる湿度の高いところや、暖房した直後の部屋へ移動したとき。
- 冷房されているところから、急に温度・湿度の高いところへ移動したとき。

このようなところへ移動したときは、すぐ電源を入れずに10分程度放置したままお待ちください。もし、本機に結露が発生したときは、カウンター表示部にエラーメッセージ(-d-)が点灯し、カセットテープは自動的に排出されます。

そのまま電源を入れた状態で、エラーメッセージが消えるまでお待ちください。

お手入れについて

お手入れ前には、電源スイッチをOFFにし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。

キャビネットの清掃は柔らかい布で行ってください。汚れのひどいときは、台所洗剤をうすめ、布に浸して固く絞って拭きます。汚れをふき取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。
シンナー、ベンジンはご使用にならないでください。

アフターサービス

アフターサービスについて

1. 保証書...内容のご確認と保存のお願い
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入を確かめて、お買い上げの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
2. 保証期間...お買い上げ日から1年間
取扱説明書および本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき、販売店で「無料修理」させていただきます。保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
 - (ニ) その他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障および損傷
 - (ホ) 他の接続機器および接続部材に起因して生じた故障および損傷
 - (ハ) 別に指定する* 磨耗性の部品、あるいは付属品の故障および損傷

3. 補修用性能部品の最低保有期間
本機の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
4. 修理を依頼される前に
この取扱説明書をよくお読みのうえ、「故障かな?」と思う前に」の項を点検していただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、販売店にお申しつけください。
5. ご転居・定期保守サービス等ご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

* 磨耗性の部品とは、下記部品類です。

- | | |
|-----------|----------|
| ● ビデオヘッド | ● 各種ベルト |
| ● ピンチローラー | ● ゴムプリー類 |
| ● 各種プレーキ | ● ローラー類 |
| ● モーター類 | ● ヘッド類 |

定期保守のおすすめ

ビデオは

- 複雑なメカニズムで構成されており、ベルト、ローラー、ヘッドなどが数多く使用されています。
- これら部品は、使用時間が経過するにつれて磨耗劣化し、故障の原因となります。
- また、ホコリ、ゴミなども安定した機能を妨げ、トラブル発生の原因となります。

このため、単に将来の故障発生時に行うアフターサービスにとどまらず、総合的なサービス、即ちビデオシステムの機能を正常に維持させ、消耗部品などによる突発的な故障を未然に防ぐために、保守サービス(メンテナンス)を定期的に行うことが非常に大切であるといえます。定期保守サービス(有料扱い)については、お買い上げの販売店にご相談ください。

定 格

【総合】

電源電圧	AC 100 V ± 10%、50/60 Hz
消費電力	56 W

□ は安全項目です。

動作周囲温度

5 ~ 40

動作周囲湿度

35% ~ 80% (結露なし)

重量

6.5 kg

外形寸法

214 (幅) × 132 (高さ) × 391 (奥行) mm

記録フォーマット

DVCPRO フォーマット

記録トラック

- デジタル ビデオ/オーディオ
- タイムコード：サブコード領域に記録
- デジタル オーディオ：2 チャンネル
- キュー信号：1 トラック
- コントロール (CTL)：1 トラック

テープスピード

33.820 mm/秒

記録時間

- 184 分 (AJ-P184LP 使用時*)
- 66 分 (AJ-P66MP 使用時)

* AJ-P184LP にて、DVCPRO (25M モード) で記録されたテープは、DVCPRO (25M) 長時間テープ対応 VTR にてご使用ください。

使用テープ

1/4 薄磁性層メタルテープ

FF/REW 時間

5 分以内 (AJ-P184LP 使用時)

【ビデオ】

■ デジタルビデオ

サンプリング周波数

Y : 13.5 MHz、P_B/P_R : 3.375 MHz

量子化

8 bits

エラー訂正

リードソロモン積符号

■ アナログコンポジット IN/OUT

映像帯域

Y : 30 Hz ~ 4.5 MHz (0 ± 1 dB)

Y/C ディレイ

20 nsec 以下

K ファクター

2% 以下

■ 入力端子

ライン入力

BNC × 1、1.0 V_{P-P}、75

REF VIDEO 入力

BNC × 1、1.0 V_{P-P}、75

【ビデオ】

S-VIDEO

4P × 1、Y : 1.0 V_{P-P}、75

C : 0.286 V_{P-P}、75 (バーストレベル)

■ 出力端子

ライン出力

BNC × 1、1.0 V_{P-P}、75

モニター出力

BNC × 1、1.0 V_{P-P}、75

S-VIDEO

4P × 1、Y : 1.0 V_{P-P}、75

C : 0.286 V_{P-P}、75 (バーストレベル)

【オーディオ】

■ デジタルオーディオ

サンプリング周波数

48 kHz

量子化

16 bits

周波数特性

20 Hz ~ 20 kHz (0 + 1.0 dB、- 2.0 dB)

ダイナミックレンジ

85 dB 以上

(1 kHz、エンファシス OFF、“A” weighted)

歪率

0.1% 以下

(1 kHz、エンファシス OFF、基準レベル)

クロストーク

- 80 dB 以下 (1 kHz、2 チャンネル間)

■ 入力端子

ライン入力 (CH1/CH2)

PHONO × 2、- 8 dBV、47 k

■ 出力端子

ライン出力 (CH1/CH2)

PHONO × 4、- 8 dBV、1 k

ヘッドホン出力

M3 ステレオ、レベル可変 (最大 - 32 dBV 以上)、

8

【その他入出力端子】

RS-232C

D-sub、25 pin、RS-232C インターフェース

ワイヤードリモコン

M2 ジャック (簡易リモコン)

【表示管】

カウンター

8 桁 (CTL/TC/UB 切り替え、テープ残量)

オーディオレベルメーター

18 段階

その他

REC/REC INH、REMOTE、WIDE、民生用カセット挿入表示、REPEAT、SERVO、チャンネルコンディショニング、カセット挿入表示

松下電器産業株式会社 放送システム事業部

☎ 571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901 - 1161